

VM6404H/VM6809H

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VM6404H/VM6809H 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2020 年 10 月 29 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みにになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～3 年間	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②型番 CL から始まる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～2 年間	無償修理
	3 年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。が、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予想できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC 情報	5
RoHS.....	5
安全にお使い頂くために.....	6
全般	6
ラックマウント	8
同梱品.....	9
VM6404H	9
VM6809H	9
本マニュアルについて.....	10
マニュアル表記について.....	11
第1章 はじめに.....	12
概要	12
特長	14
VM6404H	14
VM6809H	15
システム要件.....	16
ソースデバイス.....	16
ディスプレイデバイス.....	16
ケーブル	16
ブラウザ.....	17
製品各部名称	18
VM6404H フロントパネル	18
VM6404H リアパネル	19
VM6809H フロントパネル	20
VM6809H リアパネル	21
IR リモコン (VM6404H のみ)	22
第2章 セットアップ方法.....	23
ラックへの取り付け.....	23

製品の接地.....	25
ケーブルの接続.....	26
接続図	27
第 3 章 フロントパネル設定	28
概要.....	28
フロントパネルプッシュボタン.....	28
パスワードの入力	30
メイン画面.....	31
ポート切替	31
LCD メニュー構成	35
メニュープッシュボタン.....	37
IP 設定.....	37
シリアルポートの設定	39
操作モード.....	40
セキュリティモード.....	47
プロファイルの保存.....	50
プロファイルスケジュールの再生/停止	51
ビデオウォールの停止.....	52
プロファイルプッシュボタン	53
IR リモコン操作	55
出力ディスプレイに対する入力ソースの変更	55
出力ディスプレイの個別出力 ON/OFF	55
出力ディスプレイ全ての出力 ON/OFF	56
第 4 章 ブラウザ操作	57
概要.....	57
ログイン.....	57
メイン画面.....	58
メニューバー	58
プロファイルリスト.....	59
プロファイルの追加/再生.....	59
プロファイルのインポート/エクスポート.....	62
プロファイルリストのオプション	63
プロファイルスケジュール	68
接続プロファイル(表示パターン)	71
デジタルサイネージの接続設定	71
ビデオウォールの接続設定	75

出力オプション	83
HDMI ビデオオプション	83
システム設定	86
一般	88
ユーザーアカウント	90
ポート名	93
ネットワーク	94
EDID	95
メンテナンス	106
HDCP	107
OSD/CEC	109
ビデオ	109
第 5 章 モバイル操作	110
概要	110
ビデオマトリックスコントロールアプリ	111
システム要件	111
インストールと接続	111
操作インターフェース	112
第 6 章 CLI コマンド	115
概要	115
Telnet 経由でマトリックススイッチャーに接続するには	115
RS-232 経由でマトリックススイッチャーに接続するには	116
入力確認	117
コマンド	117
ポート切替コマンド	117
EDID モードコマンド	120
ミュートコマンド	122
CEC コマンド	124
スケーリングコマンド	126
フレームシンクコマンド	130
ファン回転速度コマンド	131
エコーコマンド	132
画面暗転コマンド	133
読込コマンド	134
リセットコマンド	135
ボーレートコマンド	136

プロファイルの保存/呼び出しコマンド	137
OSD コマンド	138
警告コマンド	140
ファン回転速度コマンド	142
付録	143
製品仕様	143
VM6404H	143
VM6809H	145

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 本製品は屋内でのみご使用できます。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせ適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。

- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源の上限を把握しておき、これを超えないように注意してください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

VM6404H/VM6809H 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

VM6404H

- ◆ VM6404H 4入力4出力HDMIマトリックススイッチャー(4Kビデオウォール対応) ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ IRリモコン (型番:2XRT-0106G) ×1
- ◆ IRレシーバー (型番:2XRT-0003G) ×1
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド* ×1

VM6809H

- ◆ VM6809H 8入力9出力HDMIマトリックススイッチャー(4K対応・スケーラー搭載) ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VM6404H/VM6809H に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: VM6404H/VM6809H を紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ方法: VM6404H/VM6809H のハードウェアセットアップの手順について説明します。

第3章 フロントパネル設定: VM6404H/VM6809H の機能概要およびフロントパネルの LCD ディスプレイとプッシュボタンを使用したローカル側での操作方法について説明します。

第4章 ブラウザ操作: VM6404H/VM6809H のブラウザ GUI に関する詳細な説明と、GUI を使用してリモートから VM6404H/VM6809H を設定・操作する方法について説明します。

第5章 モバイル操作: ビデオマトリックスコントロールアプリの概要、およびシステム要件の詳細について説明します。

第6章 CLI コマンド: 追加のソースデバイスが機能できるように、RS-232 シリアルポートを使用した際のシリアル操作プロトコルコマンドの表を記載しています。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

ATEN の VanCryst シリーズ VM6404H 4 入力 4 出力 HDMI マトリックススイッチャー (4K ビデオウォール対応) および VM6809H 8 入力 9 出力 HDMI マトリックススイッチャー (4K 対応・スケーラー搭載) は、多目的に使えるソリューションで、VM6404H は 4 台の HDMI ソースからの HD ビデオと音声を 4 台の HDMI ディスプレイに、また、VM6809H は 8 台の HDMI ソースからの HD ビデオと音声を 9 台の HDMI ディスプレイに、それぞれ任意に組み合わせて同時に出力することができます。本製品はマトリックススイッチャーとして、各入力信号を個別に、またはすべてマトリックス状に出力させることができるので、マルチディスプレイオーディオ/ビデオシステムを柔軟に操作することができます。

VM6404H/VM6809H のシームレス切替機能は、FPGA マトリックスシステムアーキテクチャを採用しているため、複数のソースとディスプレイを途切れることなく切り替えることができます。VM6404H/VM6809H は、EDID エキスパートテクノロジーを搭載しているので、最適な EDID 設定を行い、スムーズな起動と最高品質の表示を実現します。また、高性能スケーラー機能により、入力機器の解像度を出力ディスプレイの実効解像度に合わせてスケーリングするため、最大 4K の各種解像度で高画質を提供することが可能となりました。

VM6404H/VM6809H は、フロントパネルにある LCD ディスプレイ/プッシュボタンや IR リモコン (VM6404H のみ) から簡単に設定できます。また、LCD ディスプレイで全ポートの接続状況が一目でわかるようになっていて、オペレーターは本製品に内蔵された設定ユーティリティにアクセスすることもできます。

さらに、VM6404H/VM6809H は任意の Web ブラウザから直感的な GUI を使用して、簡単に設定や操作を行うことができます。また、この GUI を使用してデジタルサイネージやビデオウォール設定も簡単に構築することができ、その設定内容を保存して、いつでも呼び出すこともできます。VM6404H は標準 TCP/IP 接続を経由して操作できるので、既存のネットワークに簡単に組み込んで、リモートアクセスを実現させることができます。VM6404H/VM6809H に搭載された RS-232 ポートを使用してハイエンドコントローラーや PC から本製品を操作することができるため、機器を統合し、ひとまとまりのシステムとして扱うことができます。また、ビデオマトリックスコントロールアプリを使うことで、頻繁に使用する機能 (例: プロファイルや AV 入力の切替など) にモバイルデバ

イスからアクセスすることもできます。

VM6404H/VM6809H は、プレゼンテーション、コンペ、制御室をはじめ、その他、リアルタイムでのコンテンツ表示が必要とされるシステムにおいて、複数台のソースデバイスからの HDMI 出力を複数方向へ任意かつ便利に送信することが求められる場面への導入に適した製品です。

特長

VM6404H

- ◆ 4 系統の HDMI 信号を 4 系統にマトリックス分配切替
- ◆ 豊富な操作方法 - フロントパネルのボタン、IR リモコン、RS-232 制御、Web GUI、Telnet
- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ 4K スケーラー - 各出力ポートにスケーラーを搭載し、入力機器の解像度を出力ディスプレイの実効解像度に合わせてスケーリング可能^{※1}
- ◆ シームレス切替 - フレームバッファによる継続的なビデオストリーム、リアルタイムな切替、安定した信号送信が可能^{※2, 3}
- ◆ ビデオウォール対応 - わかりやすい Web GUI を使用して、ビデオウォールの表示レイアウトを設定可能^{※3}
- ◆ EDID エキスパート機能 (エミュレーション機能) - 自動/手動で適切な EDID モードを選択可能
- ◆ フレームシンク - スケーラーからの出力フレームレートを入力信号のフレームレートに同期させることによる画像のティアリングを防止
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K^{※4})、HDCP 2.2 準拠
- ◆ CEC 準拠
- ◆ HDMI ESD 保護機能搭載
- ◆ ラックマウント対応

注意: * ソースデバイスとの接続用 HDMI ケーブルは同梱されていませんので、型番 2L-7D02H-1 を別途ご購入ください。

1. スケーラーの解像度は、製品出荷時には 1080p に設定されています。セットアップされましたら、お使いの環境に応じて Web ブラウザのインターフェースより設定を変更してください。
 2. シームレス切替を有効にした場合、ビデオ出力は 3D、Deep Color やインターレース (例: 1080i) を表示できません。これらの機能を使用する場合は、シームレス切替機能を無効にしてください。
 3. シームレス切替またはビデオウォール機能を有効にした場合、映像が適切に表示されないことがあります。その場合は、ディスプレイの表示設定を調節してください
-

い。

4. 対応する 4K 解像度は、3840×2160@30Hz(4:4:4)、3840×2160@60Hz(4:2:0)、4096×2160@30Hz(4:4:4)、4096×2160@60Hz(4:2:0)です。
-

VM6809H

- ◆ 8 系統の HDMI 信号を 9 系統にマトリクス分配切替
- ◆ 操作方法 - フロントパネルのプッシュボタン、RS-232 制御、Web GUI を介したイーサネット接続、Telnet
- ◆ ビデオマトリクススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ 4K 対応スケーラー - 入力機器の解像度を出力ディスプレイの実効解像度に合わせてスケーリング可能
- ◆ シームレス切替^{※1} - フレームバッファによる継続的なビデオストリーム、リアルタイムな切替、安定した信号送信が可能
- ◆ ビデオウォール対応^{※2} - わかりやすい Web GUI を使用して、表示パターンを設定可能
- ◆ EDID エキスパート機能 (エミュレーション機能) - 自動/手動で適切な EDID モードを選択可能
- ◆ フレームシンク - スケーラーからの出力フレームレートを入力信号のフレームレートに同期させることによる画像のティアリングを防止
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K^{※3})、HDCP 2.2 準拠
- ◆ オーディオ対応 - HDMI 音声信号をステレオ信号にディエンベデッド可能
- ◆ HDMI ESD 保護機能搭載
- ◆ ラックマウント対応 (1U サイズ)

注意: * ソースデバイスとの接続用 HDMI ケーブルは同梱されていないので、型番 2L-7D02H-1 を別途ご購入ください。

1. シームレス切替を有効にした場合、ビデオ出力は 3D、Deep Color やインターレース (例: 1080i) を表示できません。これらの機能を使用する場合は、シームレス切替機能を無効にしてください。
 2. シームレス切替またはビデオウォール機能を有効にした場合、映像が適切に表示されないことがあります。その場合は、ディスプレイの表示設定を調節してください。
 3. 対応する 4K 解像度は、3840×2160@30Hz(4:4:4)、3840×2160@60Hz(4:2:0)、4096×2160@30Hz(4:4:4)、4096×2160@60Hz(4:2:0)です。
-

システム要件

VM6404H/VM6809H のセットアップには、以下のデバイスが必要です。

ソースデバイス

- ◆ HDMI Type-A 出力コネクタを搭載したコンピューターまたは A/V ソースデバイス

注意： DVI ソースデバイスを接続するには、DVI/HDMI アダプターが必要です。DVI ソースデバイスはシングルリンクのみ対応となります。

ディスプレイデバイス

- ◆ HDMI Type-A 入力コネクタを搭載したディスプレイデバイスまたはレシーバー

ケーブル

- ◆ 接続する各ソースデバイスに対し、HDMI ケーブル ×1
- ◆ 接続する各ディスプレイデバイスに対し、HDMI ケーブル ×1
- ◆ Cat 5e ケーブル ×1
- ◆ RS-232 シリアルケーブル ×1

注意： 本製品にはケーブルは同梱されていません。オーディオとビデオ表示の品質に影響するため、適切な長さの高品質ケーブルを購入されることを強く推奨いたします。適切なケーブルの購入については、販売代理店までお問い合わせください。

ブラウザ

VM6404H の操作に対応した Web ブラウザは下表のとおりです。

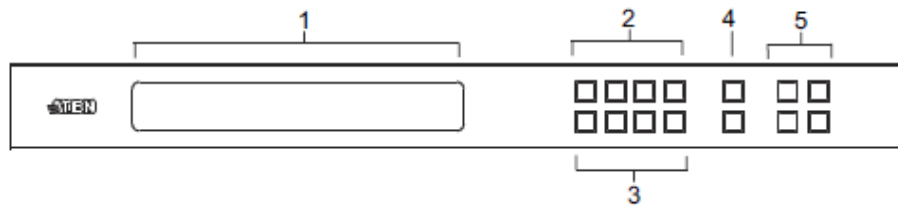
OS	Java バージョン	ブラウザ	バージョン
Windows 8.1	V1.8.0_60	Chrome	45.0.2454.85 m
		Firefox	40.0.3
		Safari	5.1.7
		Opera	31.0.1889.174
		IE11	11
Windows 2012 R2 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	IE11	11 (64 ビット版)
Windows 2008 R2 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	IE8	8
Windows 7 SP1 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	IE10	10 (64 ビット版)
Windows XP	V1.8.0_60	IE8	8
CentOS 7.0 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	Firefox	40.0.3
Ubuntu 12.04	V1.8.0_60	Chrome	45.0.2454.85
Solaris 11 (64 ビット版)	V1.8.0_25	Firefox	33
Mac 10.10	V1.8.0_25	Safari	8

VM6809H の操作に対応した Web ブラウザは下表のとおりです。

OS	Java バージョン	ブラウザ	バージョン
Windows 10 (64 ビット版)	V1.8.0_144 (64 ビット版)	Chrome	60.0.3112.113 (64 ビット版)
		Firefox	54.0.1
		Opera	46.0.259.57
Ubuntu 16.04 (64 ビット版)	V1.8.0_121 (64 ビット版)	Chrome	60.0.3112.78 (64 ビット版)
Solaris 11 (64 ビット版)	V1.8.0_25	Firefox	30
Mac 10.10	V1.8.0_25	Safari	10.10.1

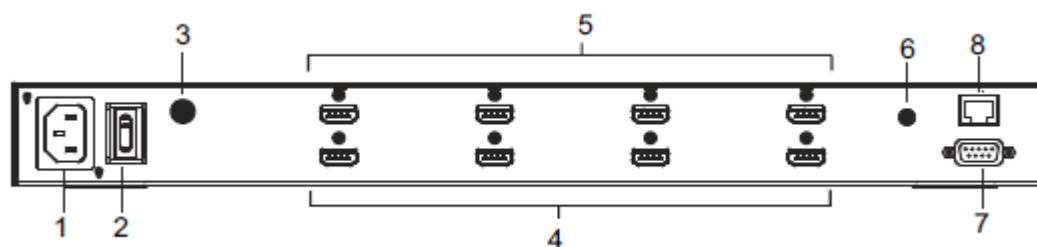
製品各部名称

VM6404H フロントパネル



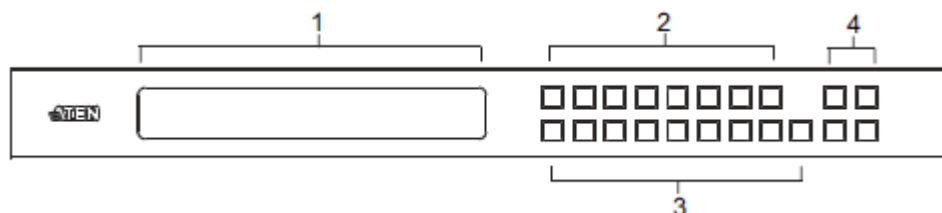
No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイで全てのポートの接続状況が一覧でき、VM6404H の設定や操作に関する様々なオプションが表示されます。詳細は p.31「メイン画面」を参照してください。
2	入力 プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM6404H のリアパネルにある HDMI 入力ポートに関連しています。このボタンを押して入力ポートを選択します。また、メニューオプションやプロファイル (P1～P4) などにも関連しています。 注意: 入力 (1～4) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
3	出力 プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM6404H のリアパネルにある HDMI 出力ポートに関連しています。このボタンを押して出力ポートを選択します。また、プロファイル (P5～P8) にも関連しています。 注意: 出力 (1～4) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
4	Prev/Next ボタン	このボタンを押すと、LCD ディスプレイに表示されるメニュー項目を前後に切り替えます。
5	ファンクション プッシュボタン	ファンクションプッシュボタン (MENU、PROFILE、ENTER、CANCEL) は、設定ユーティリティを搭載した LCD を操作するのに使用します。詳細は p.28「フロントパネルプッシュボタン」を参照してください。 注意: MENU と PROFILE フロントパネルプッシュボタンには LED ランプが内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。

VM6404H リアパネル



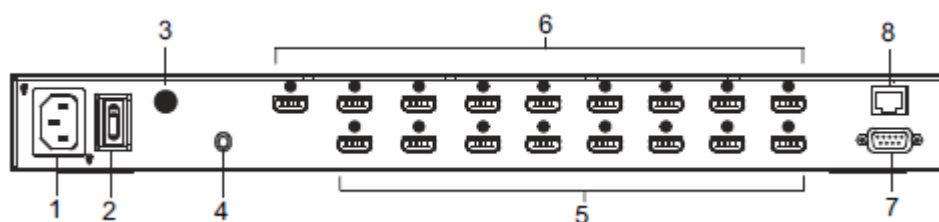
No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の 3 極タイプの AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	本体の電源を入れたり、切ったりするための標準的なロックスイッチです。
3	接地ターミナル	接地線をここに接続します。詳細は、p.25「製品の接地」を参照してください。
4	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスからのケーブルをこのポートに接続します。
5	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイからのケーブルをこのポートに接続します。
6	IR ポート	製品同梱の IR レシーバーユニットをこの 3.5mm ミニステレオジャックに接続します。
7	RS-232 シリアルポート	コンピューターまたはシリアルリモートコントローラーをこのシリアルポートに接続します。
8	イーサネットポート	VM6404H のブラウザ GUI にアクセスするには、VM6404H をネットワークに接続しなければなりません。VM6404H を LAN に接続するケーブルをこのポートに接続します。詳細は p.26「ケーブルの接続」を参照してください。

VM6809H フロントパネル



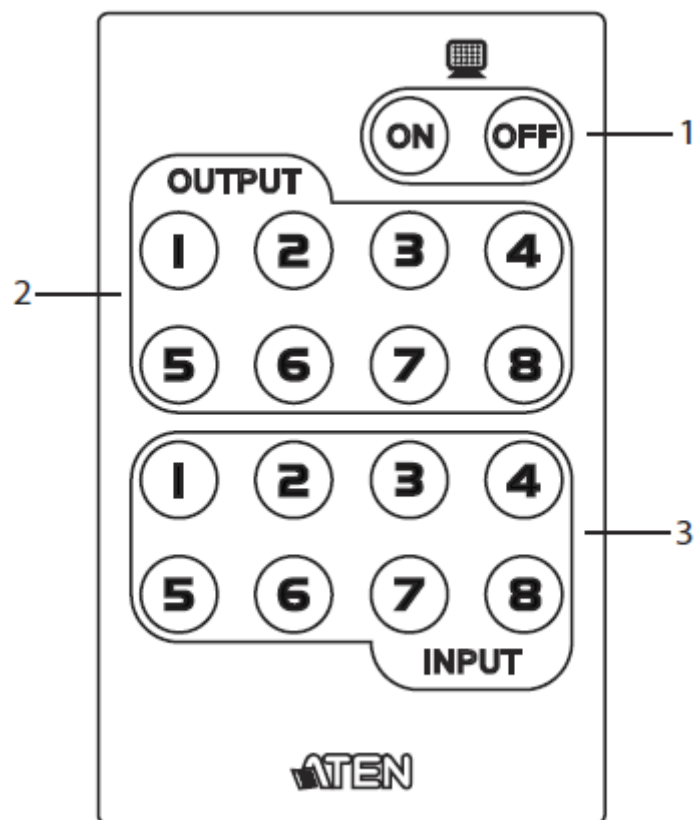
No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイで全てのポートの接続状況が一覧でき、VM6809H の設定や操作に関する様々なオプションが表示されます。詳細は p.31「メイン画面」を参照してください。
2	入力 プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM6809H のリアパネルにある HDMI 入力ポートに関連しています。このボタンを押して入力ポートを選択します。また、メニューオプションやプロファイル (P1～P8) などにも関連しています。 注意: 入力 (1～8) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
3	出力 プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM6809H のリアパネルにある HDMI 出力ポートに関連しています。このボタンを押して出力ポートを選択します。また、プロファイル (P9～P17) にも関連しています。 注意: 出力 (1～9) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
4	ファンクション プッシュボタン	ファンクションプッシュボタン (MENU、PROFILE、ENTER、CANCEL) は、設定ユーティリティを搭載した LCD を操作するのに使用します。詳細は p.28「フロントパネルプッシュボタン」を参照してください。 注意: MENU と PROFILE フロントパネルプッシュボタンには LED ランプが内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。

VM6809H リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の 3 極タイプの AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	本体の電源を入れたり、切ったりするための標準的なロッカースイッチです。
3	接地ターミナル	接地線をここに接続します。詳細は、p.25「製品の接地」を参照してください。
4	オーディオ出力ポート	このオーディオ出力ポートを使うと、HDMI オーディオからステレオオーディオを抽出することができます。このポートには、スピーカーのケーブルを接続してください。
5	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスからのケーブルをこのポートに接続します。
6	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイからのケーブルをこのポートに接続します。
7	RS-232 シリアルポート	コンピューターまたはシリアルリモートコントローラーをこのシリアルポートに接続します。
8	イーサネットポート	VM6809H のブラウザ GUI にアクセスするには、VM6809H をネットワークに接続しなければなりません。VM6809H を LAN に接続するケーブルをこのポートに接続します。詳細は p.26「ケーブルの接続」を参照してください。

IR リモコン (VM6404H のみ)



No.	名称	説明
1	映像出力 ON/OFF	ON/OFF プッシュボタンを使用して、個別のポートまたは全てのポートに接続された出力ディスプレイへの出力を ON または OFF にすることができます (p.55「リモコン操作」参照)。
2	出力ボタン 1～8	出力ディスプレイボタン 1～8 は、設定対象となる出力ディスプレイポート番号を表します (p.55「リモコン操作」参照)。
3	入力ボタン 1～8	入力ソースプッシュボタン 1～8 は、選択した出力に対して表示したい入力ソースを選択します (p.55「リモコン操作」参照)。

注意: VM6404H の IR リモコンは入力ボタンと出力ボタン共に 1～4 のみ使用可能です。

第2章 セットアップ方法



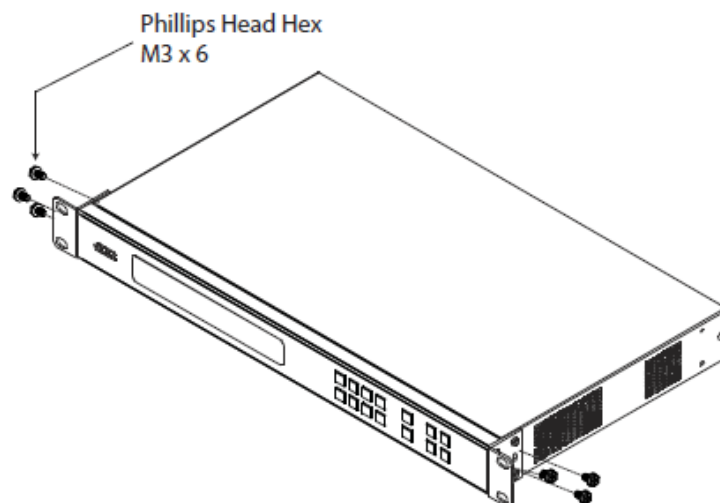
1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

ラックへの取り付け

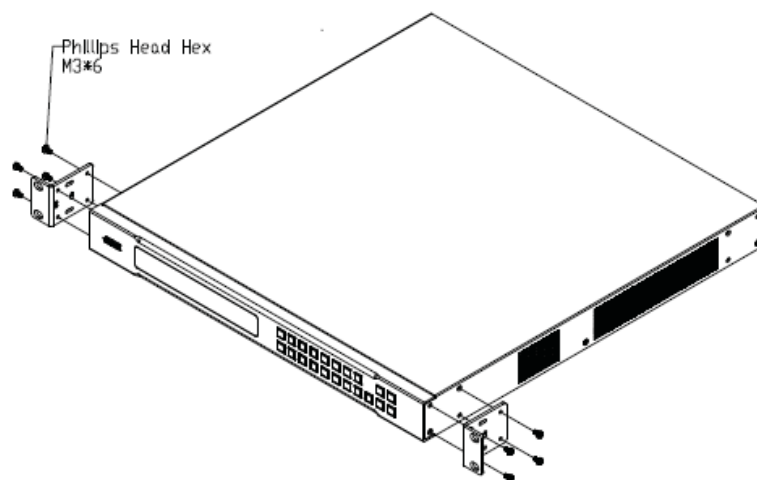
VM6404H/VM6809H は 19 インチのシステムラックに 1U サイズで取り付けることができます。ローカル側でフロントパネルのプッシュボタンを使用して設定や操作を行いやすくするために、下記の手順で本製品をラックのフロント側に取り付けてください。

1. ラックマウントキットに同梱されている M3 プラスネジ6mm を使用してラックマウントブラケットを本製品のフロントパネルにネジ止めしてください(ラックマウントキットを固定するには、VM6404H で 6 個、VM6809H で 8 個のネジをそれぞれ使用します)。

VM6404H



VM6809H



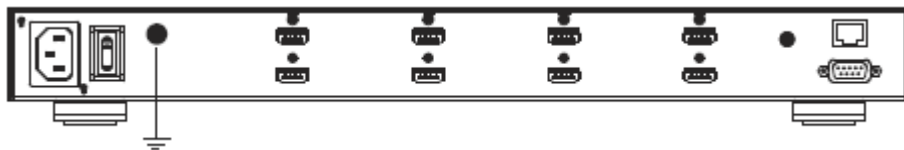
2. ラックのフロント側に本製品を固定し、ラックのネジ穴とマウント用ブラケットの穴を合わせてください。
3. マウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。

注意: ラックマウント用のビスとケージナットは本製品に付属していないため、別途、ご用意ください。

製品の接地

機器の破損を防ぐために、ご使用する機器すべてを適切に接地してください。

1. アースが取られていない場合、接地線を別途ご用意いただき、この接地線の一端を VM6404H/VM6809H の接地ターミナルに接続し、もう一端を適切な接地物に接続してください。



2. VM6404H/VM6809H にセットアップされたデバイスがすべて適切に接地されていることを確認してください。

ケーブルの接続

VM6404H/VM6809H のセットアップに必要な作業は、ケーブルを接続するだけです。以下の接続図(図にある番号は、下記の手順番号に対応)を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

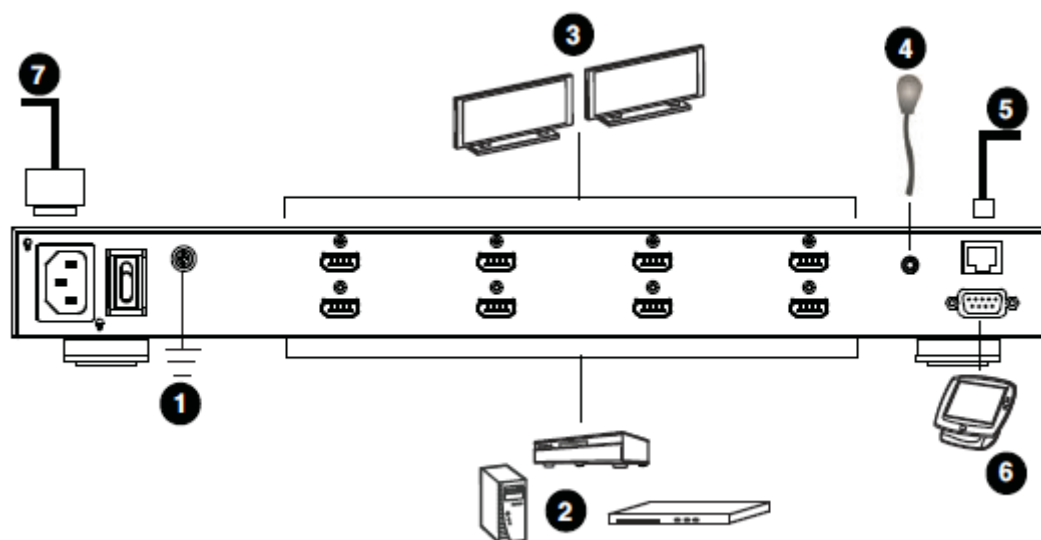
1. 接地線の一端を VM6404H/VM6809H の接地ターミナルに接続し、もう一端を適切な接地物に接続してください。

注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

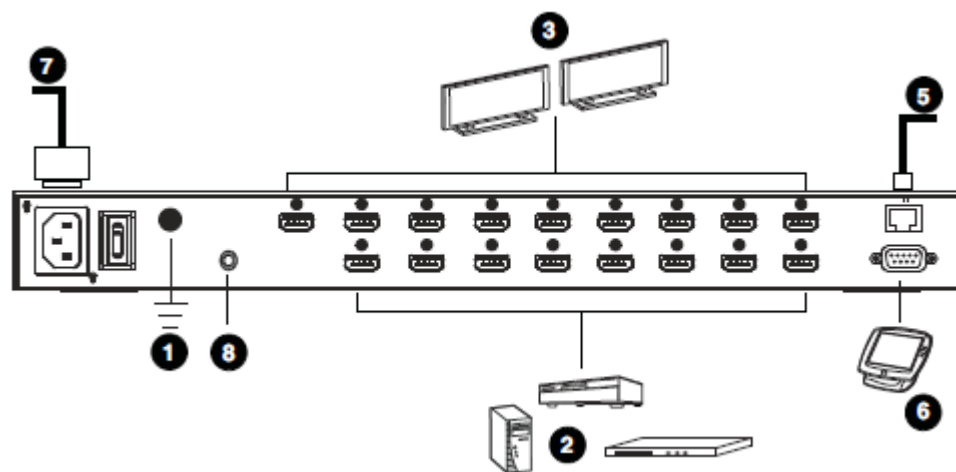
2. 最大 4 台 (VM6404H) / 8 台 (VM6809H) の HDMI ビデオソースデバイスを本製品の **HDMI 入力**ポートに接続してください。
3. 最大 4 台 (VM6404H) / 8 台 (VM6809H) の HDMI ディスプレイデバイスを本製品の **HDMI 出力**ポートに接続してください。
4. IR レシーバーを本製品の **IR** ポートに接続してください (VM6404H のみ)。
5. (オプション) ブラウザまたはビデオマトリックスコントロールアプリから操作を行う場合は、LAN に接続されている Cat 5e ケーブルを VM6404H/VM6809H の **イーサネット**ポートに接続してください。
6. (オプション) シリアルコントロール機能を使用する場合は、適切な RS-232 シリアルケーブルを使用して、コンピューターまたはシリアルコントローラーと VM6404H/VM6809H の **RS-232 シリアル**ポート(メス)を接続してください。PC 側を DTE、VM6404H を DCE として通信を行います。
7. 同梱の電源コードを VM6404H/VM6809H の 3 極 AC ソケットに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。
8. (オプション) HDMI オーディオを抽出する場合は、製品本体のオーディオ出力ポートにスピーカーを接続してください (VM6809H のみ)。
9. VM6404H/VM6809H および接続機器全てに電源を入れてください。

接続図

VM6404H



VM6809H



第3章

フロントパネル設定

概要

VM6404H/VM6809H はローカル側ではフロントパネルの LCD/プッシュボタンおよび IR リモコン (VM6404H のみ) を使用し、リモート側では標準的な TCP/IP 接続を経由する Web ブラウザ GUI や Telnet を使用したリモートターミナルセッション、RS-232 シリアルコントローラーを通じて設定や操作ができます。

本章では、フロントパネルの操作方法について説明します。Web ブラウザ GUI を使用する操作方法については「第4章 ブラウザ操作」で、RS-232 シリアルコントロールについては「第6章 CLI コマンド」で説明します。

フロントパネルプッシュボタン

製品本体にはローカル側での設定や操作が便利にできるように、LCD ディスプレイおよびプッシュボタンがフロントパネルに搭載されています。これを使用して、ソースデバイスとディスプレイの組み合わせの選択、IP 設定の参照、シリアルポートの設定、EDID モード/CEC/OSD/出力状況の調整、セキュリティ情報の設定、およびプロファイル(表示パターン)の呼び出し/保存というような操作ができます。

下記のフロントパネルプッシュボタンの操作方法に注意してください。

- ◆ メニュー画面のオプションにアクセスするには「**MENU**」ボタンを使用してください。メニュー画面には、「IP Setting」(IP 設定)、「Serial Port Setting」(シリアルポート設定)、「Operation Mode」(操作モード)、「Security Mode」(セキュリティモード)、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)といったオプションがあります(p.35「LCD メニュー構成」参照)。
- ◆ 「Profile List」(プロファイルリスト)に追加されたプロファイル(表示パターン)を切り替えるには、「**PROFILE**」ボタンを使用してください(p.59「プロファイルリスト」参照)。このボタンを 3 秒以上押したままにすると、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)画面が表示されます(p.50「プロファイルの保存」参照)。
- ◆ 前のレベルの画面やメイン画面に戻ったり、操作を中止したりするには「**CANCEL**」ボタンを使

用してください。

- ◆ オプションを選択し、操作方法を確定させるには「ENTER」ボタンを使用してください。
- ◆ 入力/出力ポートを選択するには、「INPUT (1～4 または 1～8)」/「OUTPUT (1～4 または 1～9)」ボタンを使用してください。このボタンはメニューオプション、プロファイル(表示パターン)などにも対応しています。
- ◆ VM6404H は「Prev/Next」ボタンを使用して、メニュー画面を前後に遷移することができます。
- ◆ VM6909H は「7」(前へ)や「8」(次へ)ボタンを使用して、メニュー画面を操作することができます。

パスワードの入力

VM6404H/VM6809Hを起動する際に、フロントパネルのLCDで読込状況を確認してください。エラーメッセージが表示された場合、本製品をOFFにして、もう一度起動させてください。

VM6404H/VM6809Hの初回アクセス時には、LCDの読込が完了すると、パスワード画面が表示されます。デフォルトのパスワード「1234」を入力して、メイン画面へ続けてください(p.31「メイン画面」参照)。



さらに、VM6404H/VM6809Hのフロントパネル操作にパスワード入力が必要であると設定されている場合(詳細は p.47「Security Mode (セキュリティモード)」参照)、パスワード画面が表示されます。

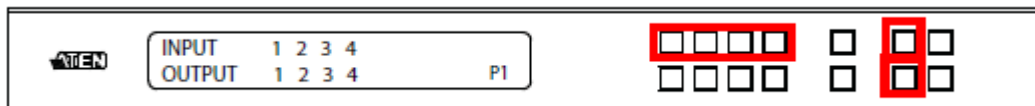
パスワードを入力するには以下の方法に従って操作してください。

1. 「Enter Password」(パスワードの入力)欄で、カーソルが最初のアスタリスク(*)の位置にあり、点滅していることを確認してください。
2. フロントパネルの入力ポートプッシュボタン(1～4または1～8)を使用して、4桁のパスワードを入力してください。4桁の数字が正しく入力されると、メイン画面が表示されます。
3. パスワードを消去するには、「CANCEL」ボタンを押してください。4桁の数字が4つのアスタリスクに戻り、カーソルが最初のアスタリスクに戻ります。

-
- 注意:**
1. 製品のパスワードは、VM6404Hでは「1111」から「4444」までの4桁の数字を、また、VM6809Hでは「1111」から「8888」までの4桁の数字を、それぞれ任意に組み合わせることができます。デフォルトのパスワードは「1234」です。
 2. 間違ったパスワードを入力してしまった場合、カーソルが最初の数字に戻り、点滅します。画面の下側に「The Incorrect Password」とのメッセージが表示されますが、正しいパスワードを再度入力すると、メッセージは消去されます。
 3. パスワードの入力を有効にしている場合(p.47「Security Mode (セキュリティモード)」参照)、LCDディスプレイのタイムアウトはデフォルトで5分間となっています。
-

メイン画面

メイン画面では、下の行に出力ポートを1～4または1～9の順に表示しています。この出力ポートの真上の行には、その出力ポートに出力されている入力ポート(1～4 または 1～8)が表示されています。



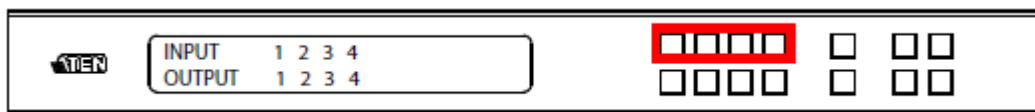
- ◆ フロントパネルプッシュボタンの表示は、リアパネルにある**入力**ポート(1～4 または 1～8)と**出力**ポート(1～4 または 1～9)に対応しています。
- ◆ LCD メニューを参照するには、「MENU」ボタンを使用してください(p.35「LCD メニュー構成」を参照)。
- ◆ プロファイル(表示パターン)間を切り替えるには、「PROFILE」ボタンを使用してください(p.59「プロファイルリスト」参照)。

ポート切替

メイン画面から、入力ソースデバイスと出力ディスプレイを関連付けて、入力→出力ポート接続を設定することができます。

入力ポートの選択

設定したい入力ポートを選択するには、入力ポートプッシュボタンを使用してください。



入力ソースデバイスからの映像を各出力ポートに出力するには、下記の手順に従ってください。

1. 任意の入力ポートプッシュボタンを押してください。先述の入力ポートボタンに関係している出力ポートの LED が点滅します。また、利用可能な出力ポートの LED が点灯状態になります。下図の例では、入力ポート 1 を押すと、出力ポート 1 と 2 に関連付けされていることを表します。



- 出力ポートを入力ポートから切断するには、その出力ポートに対応するプッシュボタンを押してください。

下図の例では、出力ポート 2 が入力ポート 1 から切断されています。



- 他の入力ポートに切り替えるには、切り替えたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。この入力ポートに関連付けされている出力ポートの LED が点滅します。

下図の例では、入力ポート 2 を押すと、このポートには出力ポート 3 と 4 が関連付けされていることを表します。



- 上の例において出力ポート 2 を入力ポート 2 に接続するには、出力ポート 2 のプッシュボタンを押してください。そうすると、出力ポート 2 の LED も点滅します (0.5 秒 ON、0.2 秒 OFF)。これは、入力ポート 2 が出力ポート 2、3、4 に接続されたことを表しています。



選択した入力ポートからの信号が出力ポートにつながると、LED は消え、LCD 情報が更新されます。

-
- 注意:**
- 入力ポートを再び押すと、非選択状態となります。
 - 未設定の入力ポートや、出力ポートに関連付けされていない入力ポートは、LCD 画面に表示されません。
 - 「CANCEL」ボタンを 1 回押すと、入力ポートの選択操作を中止し、設定が有効であることを LCD に表示します。再度、「CANCEL」ボタンを押すと、全ての LED が OFF になります。
 - 10 秒以上操作が行われないと、全ての LED が OFF になります。
-

出力ポートの選択

設定したい出力ポートを選択するには、出力ポートプッシュボタンを使用してください。



入力ソースデバイスに関連付ける出力ポートを選択するには、下記の操作を行ってください。

1. 出力ポートプッシュボタンを押してください。

下図の例では、出力ポート 1 のプッシュボタンが押されており、利用可能な入力ポートが点灯しています。ここでは、どの入力 LED も点滅していないため、出力ポート 1 に関連付けられているポートがないことを表します。



2. 出力ポートが 2 回目に押されると、非選択状態となり、LED は OFF になります。
3. 選択した出力ポートを入力ポートに接続するには、出力ポートに関連付けたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。新たに選択された入力ポートの LED が点滅し(0.5 秒 ON、0.2 秒 OFF)、LCD 情報が更新されます。

下図の例では、入力ポート 2 のボタンを押して、出力ポート 2、3、4 が関連付けられていることを表します。



4. 出力ポート 2、3、4 を他の入力ポートに切り替える（および入力ポート 2 から切断する）には、関連付けたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。

下図の例では、入力ポート 3 のボタンが押され、現在、このポートが出力ポート 2、3、4 に接続していることを表します。



-
- 注意：**
1. 出力ポートを再び押すと、非選択状態となります。
 2. 「CANCEL」ボタンを 1 回押すと、出力ポートの選択操作を中止し、設定が有効であることを LCD に表示します。再度、「CANCEL」ボタンを押すと、全ての LED が OFF になります。
 3. 10 秒以上操作が行われないと、全ての LED が OFF になります。
-

LCD メニュー構成

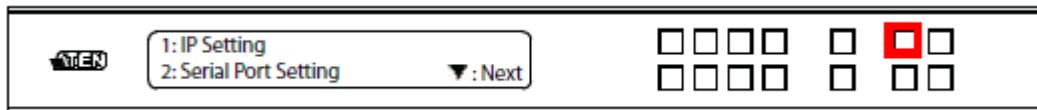
VM6404H/VM6809H にはフロントパネル LCD を使用した設定ユーティリティが搭載され、「MENU」ボタンとフロントパネルの入力プッシュボタン(1～4または1～8)を押すことで、操作を行います。ユーザーは、下表に示した「IP Setting」(IP の設定)画面から始まるメニューオプションを循環させることができます。

メニューページ	サブメニューページ			
IP Setting (IP の設定)	IP Address(IP アドレス) : 192.168.0.60			
	Subnet Mask (サブネットマスク) : 255.255.255.0			
	Gateway (ゲートウェイ) : 192.168.0.1			
Serial Port Setting (シリアルポートの設定)	Baud Rate (ボーレート)	9600 / 19200 / 38400 / 115200		
Operation Mode (操作モード)	EDID	Default / Port1 / Remix / Customized (プリ セット/ポート 1/リミックス/カスタマイズ)		
	CEC	ON / NA		
	OSD	ON / NA		
	Output Status (出力状況)	Video (ビデオ)	ON/NA	
		Audio Extract Mute (オーディオ抽出 ミュート)	01～08 (VM6809H) ON/NA	
		Output Resolution (出力解像度)	01～04 (VM6404H) 01～09 (VM6809H)	
Security Mode (セキュリティモード)	Mode (モード)	None (なし)		
		Password Enable (パスワード有効)		
		Lock Screen (ロック画面)		
	Change Password (パスワード変更)	Old Password (旧パスワード)	New Password (新パスワード)	
Save to a Profile (プロファイルの保存)	Save to a Profile No. (プ ロファイル No. に保存)	01～08 (VM6404H)		
		01～17 (VM6809H)		
Play / Stop the Profile Schedule (プロファイルスケジュールの再生/停止)				
Turn Video Wall Off (ビデオウォールの停止)				

-
- 注意:**
1. 太字の値は、VM6404H/VM6809H のデフォルトプロファイルです。
 2. オーディオ抽出機能は VM6809H のみ対応しています。
-

メニュープッシュボタン

メイン画面と LCD メニュー画面を切り替えるには、「MENU」プッシュボタンを押してください。メニュー画面が動作していると、「MENU」プッシュボタンに内蔵された LED が点灯します。



メニュー画面では、下記の操作を行うことができます。

- ◆ IP 設定画面に遷移するには、「1」を押してください(下記の「IP 設定」参照)。
- ◆ シリアルポート設定画面に遷移するには、「2」を押してください(p.39「シリアルポートの設定」参照)。
- ◆ 次のサブメニュー画面に遷移するには、「Next」ボタン(VM6404H) / 「8」ボタン(VM6809H)を押してください。
- ◆ メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。

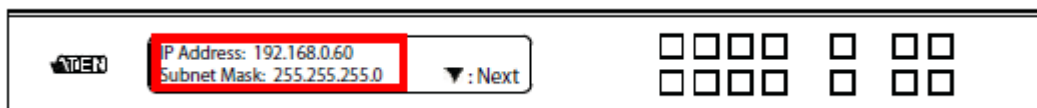
IP 設定

「IP Setting」(IP 設定)画面には、VM6404H/VM6809H の IP 設定内容が表示されます。LCD メニューに表示される値は読取専用で、設定を変更するにはブラウザ GUI を使用します(p.94「ネットワーク」参照)。

IP アドレス/サブネットマスク

VM6404H/VM6809H の IP アドレスとサブネットマスクを参照するには、下記の操作を行ってください。

1. メイン画面から、「1」を押して「IP Setting」(IP 設定)のサブメニューを表示してください。すると、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。



注意: VM6404H/VM6809H のデフォルト IP アドレスは「192.168.0.60」、デフォルトサブネットマスクは「255.255.255.0」です。

2. 「Next」ボタン (VM6404H) / 「8」ボタン (VM6809H) を押して次のページに遷移してください。
3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

ゲートウェイ

VM6404H/VM6809H のゲートウェイアドレスを参照するには、下記の操作を行ってください。

1. メイン画面から「1」を押して、「IP Setting」 (IP 設定) サブメニューを表示し、次に「Next」ボタン (VM6404H) / 「8」ボタン (VM6809H) を押して次の画面に遷移してください。ゲートウェイアドレスが表示されます。

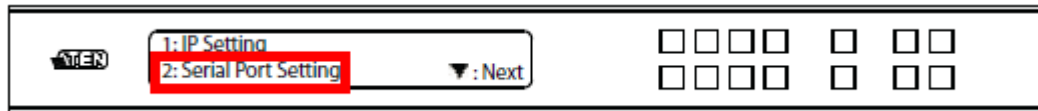


注意: VM6404H/VM6809H のデフォルトゲートウェイアドレスは「192.168.0.1」です。

2. 前の画面に戻るには、「Prev」ボタン (VM6404H) / 「7」ボタン (VM6809H) を押してください。
3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 前の画面に戻る、初期画面に戻る、または操作を終了する場合は、「CANCEL」を押してください。

シリアルポートの設定

シリアルポート接続を行うための VM6404H/VM6809H のボーレートを設定するには、メイン画面から「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)を選択してください。



ボーレート

VM6404H/VM6809H のボーレートを設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「1」を押して、「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)サブメニューから「Baud Rate Setting」(ボーレートの設定)を選択してください。



2. 「1」～「4」のプッシュボタンを押して、ボーレートを選択してください。



ボーレートのオプションは下記の通りです。

- ◆ 「1」:9600
- ◆ 「2」:19200
- ◆ 「3」:38400
- ◆ 「4」:115200

注意: デフォルトのボーレートは 19200 です。

3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 前の画面に戻る、初期画面に戻る、または操作を終了する場合は、「CANCEL」を押してください。

操作モード

「Operation Mode」(操作モード)メニューからは、EDID モード、CEC、OSD および出力状態を設定することができます。

- ◆ EDID 機能では、VM6404H/VM6809H がモニターの解像度情報の設定をすることで、異なるモニター間で最適な解像度を得ることができます。
- ◆ CEC 機能では、相互接続された HDMI デバイス間の通信や応答を 1 つのリモコンの操作で行うことができます。
- ◆ OSD がポートに対して有効になっている場合、接続されたディスプレイ/モニターにリアルタイムでのポート切替情報を表示します。
- ◆ 出力ステータスでは、出力ポートのビデオ/オーディオが ON または OFF であるかを表示します。また、ここでは出力解像度を参照したり設定したりすることができます。

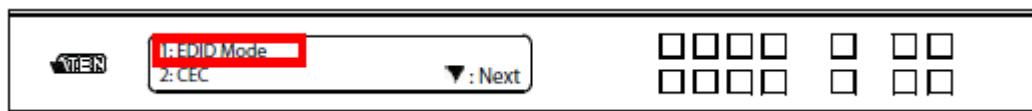
メイン画面から VM6404H/VM6809H の操作モードを設定するには、「MENU」ボタンを使用して、メニュー画面にアクセスし、「Next」ボタン (VM6404H) / 「8」ボタン (VM6809H) を押して次の画面に遷移させてから、「1」を押して「Operation Mode」(操作モード)画面にアクセスしてください。



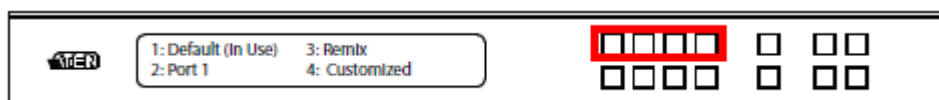
EDID モード

「EDID モード」を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「1」を押してください。



2. 「1」～「4」のプッシュボタンを押して、EDID モードのオプションを選択してください。



EDID モードのオプションは下記のとおりです。

EDID オプション	説明
「1」:Port 1	HDMI 出力ポート番号 1 に接続されたディスプレイの EDID を全ての入力ポートに適用します。
「2」:Default	本体内蔵の EDID を全ての入力ポートに適用します。
「3」:Remix	VM6404H/VM6809H の電源立ち上げ時、または「Remix」オプションを選択してからすぐに「3」ボタンを押した際に接続されている各ディスプレイの EDID を使用し、共通の解像度で表示を行います。
「4」:Customized	このモードの特長は EDID ウィザードで、最適な状態で出力できるようユーザー定義の EDID を設定します。詳細は、p.100「EDID 設定のカスタマイズ」を参照してください。

3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 前の画面に戻る、初期画面に戻る、または操作を終了する場合は、「CANCEL」を押してください。

CEC

CEC を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「2」を押してください。



2. 「1」～「4」ボタン (VM6404H) / 「1」～「9」ボタン (VM6809H) を押して、出力ポートに対して CEC 機能を有効 (ON) または無効 (NA) にしてください。ポートが CEC 機能に対応していない場合、NA が表示されます。



注意: デフォルトの CEC 設定は無効 (NA) です。

3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。

4. 前の画面に戻る、初期画面に戻る、または操作を終了する場合は、「CANCEL」を押してください。

OSD

オンスクリーンディスプレイ(OSD)機能は、VM6404H/VM6809Hのフロントパネル、IRリモコン、またはブラウザ GUI から行った出力ポートに対する設定変更内容を、ディスプレイの画面にリアルタイムでテキストを更新して表示することができます。

各出力ポートに対して OSD 設定を行うには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「Next」ボタン (VM6404H) / 「8」ボタン (VM6809H) を押して次の画面に遷移してから、「1」を押してください。



2. 「Output Status」(出力状況)画面で、「1」を押してください。



3. 「1」～「4」ボタン (VM6404H) / 「1」～「9」ボタン (VM6809H) を押して、出力ポートに対して OSD 機能を有効 (ON) または無効 (NA) にしてください。



注意: デフォルトの OSD 設定は有効 (ON) です。

4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 前の画面に戻る、初期画面に戻る、または操作を終了する場合は、「CANCEL」を押してください。

出力状態

各出力ポートに対して、出力状態を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「Next」ボタン (VM6404H) / 「8」ボタン (VM6809H) を押して次の画面に遷移してから、「2」を押してください。



2. 「Output Status」(出力状況)画面で、「1」を押して「Video」(ビデオ)を選択してください。



3. 「1」～「4」ボタン (VM6404H) / 「1」～「9」ボタン (VM6809H) を押して、出力ポートに対するビデオ/オーディオを有効 (ON) または無効 (NA) にしてください。



注意： デフォルトの出力状態設定は有効 (ON) です。

4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 前の画面に戻る、初期画面に戻る、または操作を終了する場合は、「CANCEL」を押してください。

各出力ポートに対して出力解像度を設定する場合は、下記の操作を行ってください。

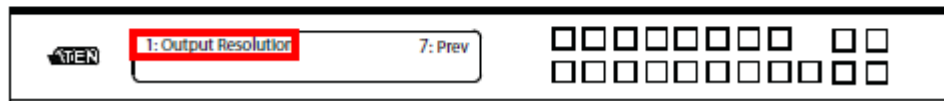
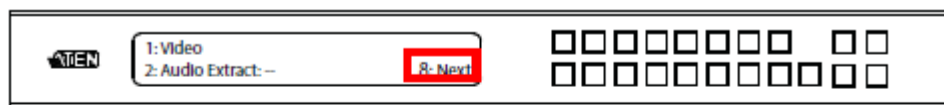
1. 「Output Status」(出力状況)画面で、「Next」ボタン (VM6404H) / 「8」ボタン (VM6809H) を押して次の画面に遷移したら、「2」を押してください。



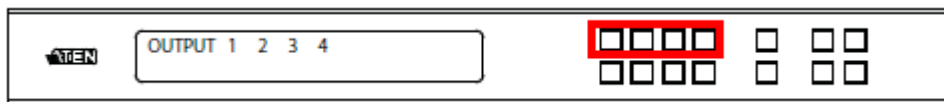
2. **VM6404H の場合:**「Output Status」(出力状況)画面で「2」を押して、出力解像度を選択してください。



- VM6809H の場合:**「Output Status」(出力状況)画面で「8」を押して次の画面に遷移してから、「1」を押して出力解像度を選択してください。



3. 「1」～「4」ボタン(VM6404H)/「1」～「9」ボタン(VM6809H)を押して、解像度を変更したい出力ポートを選択してください。



4. 利用可能なオプションは下記のとおりです。

Native Resolution (実効解像度)

560×360@60Hz

720×576@50Hz

768×480@60Hz

1024×768@60Hz

1280×720@50Hz

1280×720@60Hz

1920×1080@30Hz

1280×800@60Hz

1280×1024@60Hz

1366×768@60Hz

1400×1050@60Hz

1600×900@60Hz

1600×1200@60Hz
 1920×1200@60Hz
 1920×1080@50Hz
 1920×1080@60Hz
 2560×1080@60Hz
 3440×1440@50Hz
 3840×2160@24Hz
 3840×2160@25Hz
 3840×2160@30Hz
 4096×2160@24Hz
 4096×2160@25Hz
 4096×2160@30Hz
 3840×2160@50Hz (4:2:0)
 3840×2160@60Hz (4:2:0)
 4096×2160@50Hz (4:2:0)
 4096×2160@60Hz (4:2:0)

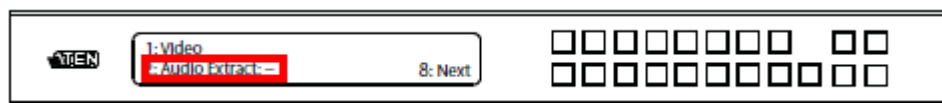
5. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
6. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

VM6809H のオーディオ抽出機能を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Output Status」(出力状況)画面で、「Next」ボタン(VM6404H)/「8」ボタン(VM6809H)を押して次の画面に遷移したら、「2」を押してください。



2. 「Output Status」(出力状況)画面で「2」を押して、「Audio Extract」(オーディオ抽出)を選択してください。



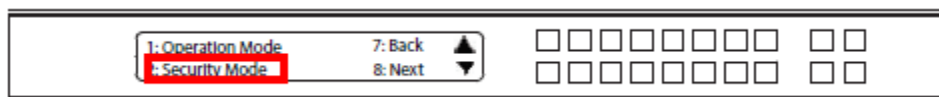
3. 「1」～「8」ボタンを押して、ステレオオーディオ出力に対する入力ポートを選択してください。
オーディオをミュートするには、ON と表示されるまで「PROFILE」(プロファイル)ボタンを押してください。



セキュリティモード

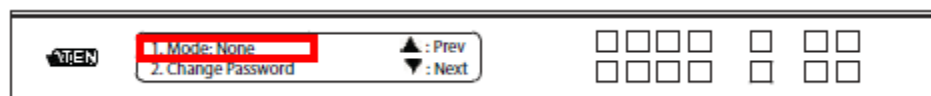
「Security Mode」(セキュリティモード)画面では、VM6404H/VM6809H のセキュリティに関する設定ができます。セキュリティモードは、「None」(なし)、「Password Enable」(パスワード有効)、「Lock Screen」(画面ロック)の3種類が利用可能です。また、VM6404H/VM6809H のパスワードを変更することもできます。

メイン画面で VM6404H/VM6809H のパスワードを設定するには、「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスし、「Next」ボタン(VM6404H) / 「8」ボタン(VM6809H)を押して次の画面に遷移してから、「2」を押して、「Security Mode」(セキュリティモード)画面にアクセスしてください。



モード

1. VM6404H/VM6809H のセキュリティモードを変更するには、「1」ボタンを押してください。



2. 「Mode」(モード)メニューでセキュリティ設定を無効にするには、「1」ボタンを押してください。この場合、メニューはセキュリティモードに戻ります。LED 表示がタイムアウトしたり、電源 OFF 後の再投入時にパスワードの入力を要求したりするには、「2」ボタンを押してください。この場合、メニューはホーム画面に戻ります。



注意: パスワード入力が有効になっている場合、5 分間無操作でタイムアウトになります。
なお、VM6404H/VM6809H のパスワードはデフォルトで 1234 に設定されています。

3. ロック画面を有効にするには、VM6404H は「8」を、VM6809H は「Next」ボタンをそれぞれ押して次の画面に遷移してから、「1」を押してください。そうすると、メニューはホーム画面に戻ります。ロック画面が有効になっている場合にホーム画面で任意のボタンを押すと、「Please press "Menu" to start」(開始するにはメニューを押してください)というメッセージが表示されま

す。



4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

パスワードの変更

1. 本製品にアクセスするためのパスワードを変更するには、「2」ボタンを押してください。



2. 「Old Password」(旧パスワード)欄の最初の文字にあるカーソルが点滅します。元のパスワードを入力してください(p.30「パスワードの入力」参照)。元のパスワードが正しく入力されると、次の手順に移ります。



注意: 間違ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示され、カーソルが最初の文字に戻って点滅します。新しいパスワードを入力すると、このメッセージは消えます。

3. 「New Password」(新しいパスワード)欄の最初の文字にあるカーソルが点滅します。フロントパネルの数字ボタンを使用して、新しいパスワード(VM6404H は 1111～4444、VM6809H は 1111～8888)を入力してください。



4. 次の「Re-enter New Password」(新しいパスワードの再入力)欄に新しいパスワードを再入力してください。すると、VM6404H/VM6809H に新しいパスワードがすぐに適用されます。



ここで入力したパスワードが前の画面で入力したものと一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。新しいパスワードを正しく入力してください。

5. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
6. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

プロファイルの保存

VM6404H は最大 8 通り(P1～P8)、VM6809H は最大 17 通り(P1～P17)のプロファイル(表示パターン)を保存でき、後で呼び出すことができます。

プロファイル(表示パターン)は、保存時のメイン画面上に現在設定されている入力→出力ポートの接続方法に基づいて保存されます。プロファイルを呼び出すと変更はすぐに適用され、プロファイル番号が LCD 画面の右下に表示されます。

ポート接続のプロファイルを保存するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスしてから、「Next」ボタン(VM6404H) / 「8」ボタン(VM6809H)を押して次の画面に遷移してください。「1」ボタンを押して、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)を選択してください。



2. プロファイル番号を設定するように促す画面が開きます。フロントパネルにある番号プッシュボタンを使用して、プロファイルとして保存する番号を選択してください。



VM6404H: (LCD を使用してプロファイルを保存する際の)オプションは「P1」～「P8」です。

- ◆ 入力ポートプッシュボタン「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P4」に対応しています。
- ◆ 出力ポートプッシュボタン「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P5」～「P8」に対応しています。

VM6809H: (LCD を使用してプロファイルを保存する際の)オプションは「P1」～「P17」です。

- ◆ 入力ポートプッシュボタン「1」～「8」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P8」に対応しています。
- ◆ 出力ポートプッシュボタン「1」～「9」はそれぞれ、プロファイル番号「P9」～「P17」に対応しています。

3. 「ENTER」ボタンを押して、プロファイル(表示パターン)を保存してください。LCD にはプロファイルが保存された旨を表すメッセージが表示されます。
4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

注意: 「Save to a Profile」(プロファイルの保存)画面は「PROFILE」ボタンを3秒間以上長押しすることで、簡単にアクセスすることができます。

プロファイルスケジュールの再生/停止

メニューの最後にあるこのオプションを使うと、選択したプロファイルスケジュールを再生や停止を行うことができます(接続プロファイル間における切替方法の詳細については、p.53「プロファイルプッシュボタン」を参照)。

プロファイルを再生または停止するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスしてから、「Next」ボタン(VM6404H) / 「8」ボタン(VM6809H)を押して次の画面に遷移してください。「2」ボタンを押して、「Play the Profile Schedule」(プロファイルスケジュールの再生)を選択してください。



2. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスしてから、「Next」ボタン(VM6404H) / 「8」ボタン(VM6809H)を押して次の画面に遷移してください。「2」ボタンを押して、「Stop the Profile Schedule」(プロファイルスケジュールの停止)を選択してください。



ビデオウォールの停止

ビデオウォールを再生していると、サブメニューが表示されます。

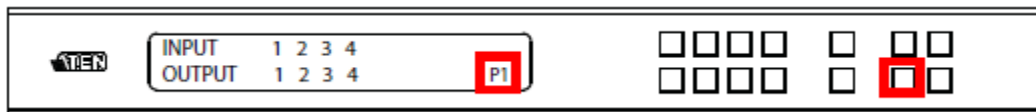


- ◆ 「Turn video wall off」(ビデオウォールの停止)を選択すると、ポートの割り当てをデフォルトの状態に戻します(ビデオウォールを解除します)。

プロファイルプッシュボタン

「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンを使用すると、プロファイルリストに保存または追加された設定へ簡単に切り替えることができます(p.59「プロファイルリスト」参照)。

プロファイルの使用中には、LCD ディスプレイの右下にプロファイル番号(「P1」～「P8」または「P1」～「P17」)が表示されます。



「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンの機能は下記の通りです。

- ◆ 「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンを押すと、利用可能なプロファイル番号が点灯し、アクティブなプロファイル番号が点滅します。入力/出力プッシュボタンを押すと、特定のプロファイル(VM6404H は 1～8、VM6809H は 1～16)に切り替えます。操作の前に、下記をご一読ください。
 - 入力ポートプッシュボタン「1」～「4」または「1」～「8」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P4」または「P1」～「P8」に対応しています。
 - 出力ポートプッシュボタン「1」～「4」または「1」～「9」は、(VM6404H では出力ポート番号「1」はプロファイル番号 5、出力ポート番号「2」はプロファイル番号 6、・・・出力ポート番号「4」はプロファイル番号 8 という要領で、また、VM6809H では出力ポート番号「1」はプロファイル番号 9、出力ポート番号「2」はプロファイル番号 10、・・・出力ポート番号「9」はプロファイル番号 17 という要領で)プロファイル番号「P5」～「P8」または「P9」～「P17」に対応しています。
- 選択したプッシュボタンの LED が点滅し、VM6404H/VM6809H は選択済みのプロファイルで設定されているポート接続をすぐに適用します。LED が点灯状態に戻ると、プロファイルが有効であることを表します。
- ◆ 「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンを押した後、再び押すと、プロファイルではなく、プロファイルスケジュール(p.68 参照)における次のプロファイルへと変更します。この機能は、スケジュールの再生中にのみ、ご利用いただけます。
- ◆ 終了するには、「CANCEL」ボタンを押してください。

注意: VM6404H/VM6809H にプロファイルが設定されていない場合、「PROFILE」(プロファイル) ボタンを押すと、「No Available Profile」(利用可能なプロファイルはありません。) というエラーメッセージが表示されます。

ポート接続のプロファイル内容は、フロントパネルのプッシュボタン(p.31「ポート切替」参照)、またはブラウザ GUI の「Connections」(接続)画面 (p.31「メイン画面」参照)を使用して編集できます。さらに、プロファイルリストはブラウザ GUI のプロファイル画面を使用して設定できます (p.59「プロファイルリスト」参照)。

IR リモコン操作

VM6404H に同梱の IR リモコン(p.22「IR リモコン」参照)を使用して、下記の操作を行うことができます。

- ◆ 任意の出力ディスプレイに対する入力ソースの切替
- ◆ 出力ディスプレイの信号出力を個別に ON/OFF
- ◆ 出力ディスプレイ全ての信号出力を同時に ON/OFF

リモコン機能を使用する前に、まず IR 外付レシーバーを VM6404H のリアパネルにあるポート (p.19「IR ポート」参照)に接続して、IR 信号が届く場所にレシーバーを設置してください。

出力ディスプレイに対する入力ソースの変更

リモコンを使用して出力ディスプレイに対する入力ソースを変更するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 変更したい出力ポート番号(「1」～「4」)を押してください。
2. 2 秒以内*に出力ポートに表示する入力ポート番号(「1」～「4」)を押してください。
3. 他にポートを変更するには、1～2 の手順を繰り返してください。

* 入力ポート番号を変更するには、出力ポート番号が押されてから2秒以内に入力ポート番号を押してください。

出力ディスプレイの個別出力 ON/OFF

リモコンを使用して出力ディスプレイへの映像出力を個別に ON/OFF にするには、下記の手順で操作を行ってください。

1. ON または OFF にしたい出力ポート番号(「1」～「4」)を押してください。
2. 2 秒以内*に「ON」または「OFF」ボタンを押してください。
3. ON または OFF に戻すには、手順 1～2 を繰り返してください。

* 出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に「ON」または「OFF」ボタンを押さなければ、その出力ポートにあるディスプレイではなく、全てのディスプレイの出力が ON または OFF になります。

出力ディスプレイ全ての出力 ON/OFF

リモコンを使用して出力ディスプレイ全ての出力を同時に ON または OFF にするには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「ON」または「OFF」ボタンを押してください。*
2. 出力ポート全ての状態を ON または OFF に同時に戻すには、手順 1 を繰り返してください。

* 「ON」または「OFF」ボタンを使用すると、現在の出力ポート個々の状態にかかわらず、全ての出力ポートを同じ状態にします。

第4章

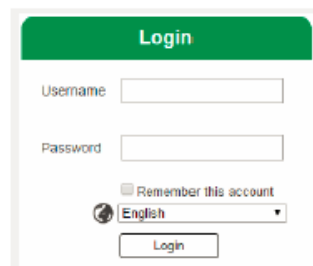
ブラウザ操作

概要

VM6404H/VM6809H はブラウザベースの GUI を使用し、標準的な TCP/IP 接続を通じて本体の設定や操作ができます。VM6404H/VM6809H は LAN や WAN (例: イン트라ネット) 接続ができるところなら、どこからでもアクセスすることができるので、リモートオペレーターはそこから任意の Web ブラウザを使用してログインすることができます。安全性はパスワード保護とユーザー設定可能なタイムアウトによって確保されています。VM6404H/VM6809H では、様々な操作上の権限を持った 3 段階のリモートユーザーに対応しています。また、最大 16 名のユーザーが GUI に同時ログインできます。詳細は次項を参照してください。

ログイン

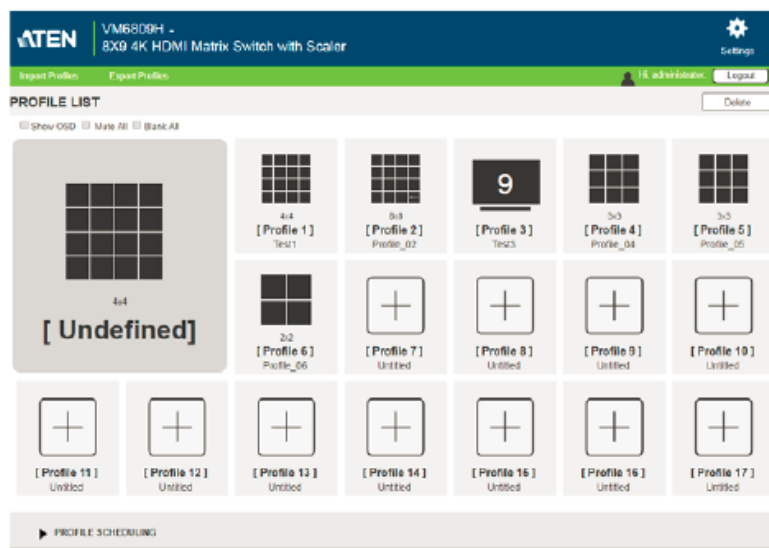
ブラウザベースの GUI にアクセスするには、任意のブラウザのアドレスバーに VM6404H/VM6809H の IP アドレスを入力してください。「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがありますが、本製品の証明書は安全なものですので、これを許可してください。初期画面が表示されます。



- ◆ VM6404H/VM6809H のデフォルト IP アドレスは **http://192.168.0.60** です。
- ◆ デフォルトユーザー名は「**administrator**」、パスワードは「**password**」です。
- ◆ ユーザー名とパスワードを入力したら、「**Login**」(ログイン)をクリックしてログインしてください。
- ◆ 同一のユーザーが同時にログインすることはできません。
- ◆ ドロップダウンメニューを使用して、GUI で使用する言語を選択してください。
 - 選択可能な言語: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語

メイン画面

VM6404H/VM6809H の GUI メイン画面は「**Profile List**」(プロファイルリスト)が開いた状態になっています。この画面でプロファイル(表示パターン)を作成して、入力・出力の接続を設定できます。この画面は、メニューバー、「Profile List」(プロファイルリスト)および「Profile Scheduling」(プロファイルスケジュール)の 3 つのパートに分けられます。



メニューバー

メニューバーには、「Model Information」(機種情報)、「Import Profiles」(プロファイルのインポート)、「Export Profiles」(プロファイルのエクスポート)、「Settings」(設定)の各アイコンと、「Logout」(ログアウト)ボタンがあります。



- ◆ 製品の説明を追加して型番の後に表示させたい場合は、型番をクリックしてください。
- ◆ プロファイルをインポートしたい場合は「**Import Profiles**」(プロファイルのインポート)を、また、プロファイルをエクスポートしたい場合は「**Export Profiles**」(プロファイルのエクスポート)をそれぞれクリックしてください(p.62 参照)。
- ◆ システム設定(p.86 参照)を行うには、「**Settings**」(設定)アイコンをクリックしてください。
- ◆ GUI からログアウトするには、「**Logout**」(ログアウト)ボタンをクリックしてください。

プロフィールリスト

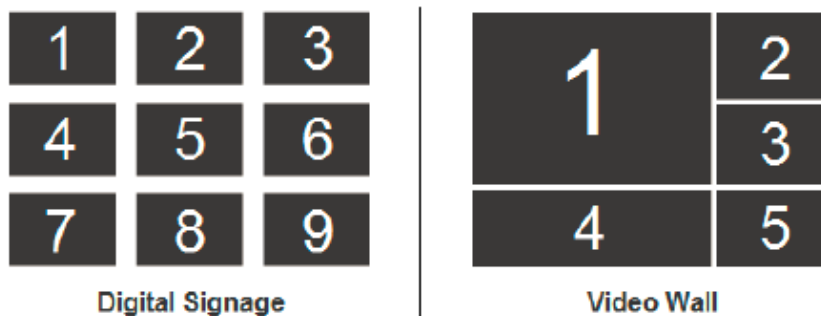
「Profile List」(プロフィールリスト)では、プロフィールを一覧で確認できます。プロフィールとは入出力の経路をまとめたものです。プロフィールは、ローカル側では本製品のフロントパネルにあるプッシュボタンを使用して、リモートでは Web GUI を使用して保存し、呼び出すことができます。VM6404H は最大 8 通り、また、VM6809H は最大 17 通りのプロフィールをそれぞれ保存できます。



プロフィールの追加/再生

プロフィール(表示パターン)の設定方法は下記の通りです

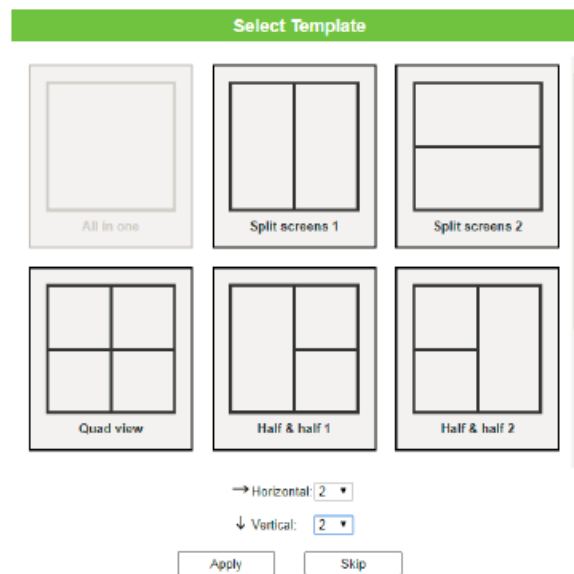
1. プロフィールリストから「**Profile**」(プロフィール)をクリックしてください。
2. VM6404H の場合はプロフィール(表示パターン)のタイプを選択してください。



Digital Signage(デジタルサイネージ):各モニターに個別表示する場合は、このオプションを選択してください(p.71 参照)。

Video Wall(ビデオウォール):ビデオウォール表示を行う場合はこのオプションを選択してください(p.75 参照)。

3. VM6809H の場合は、テンプレートを選択した後で「**Apply**」(適用)をクリックして設定内容を保存するか、「**Skip**」(スキップ)をクリックして接続プロファイルを入力してください(p.71 参照)。



4. デジタルサイネージ(p.71)またはビデオウォール(p.75)用の入力→出力接続を設定してください。

注意: VM6809H のデジタルサイネージの設定はビデオウォール画面に関連しています(p.75 参照)。

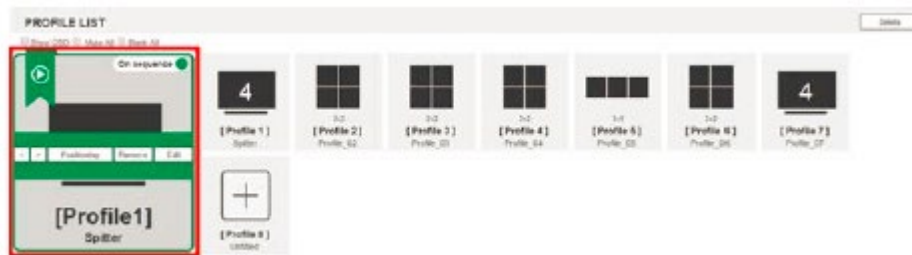
5. 下図のように新しいプロファイルがプロファイルリストに表示されます。



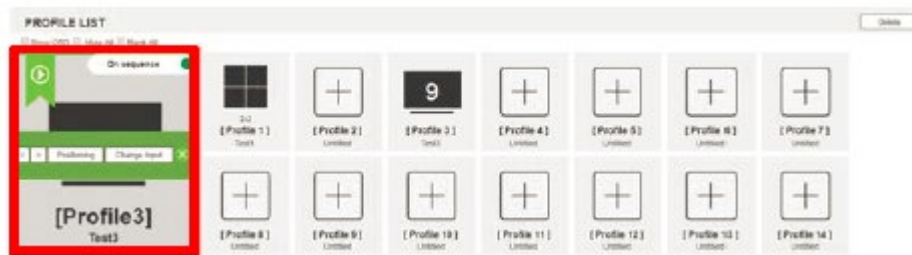
6. プロファイルを選択し、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。

7. プロファイルが大きな再生ウィンドウに表示され、接続が開始します。

VM6404H



VM6809H



注意: プロファイルリスト画面のオプションに関する詳細は、p.63 に掲載しています。

プロファイルのインポート/エクスポート

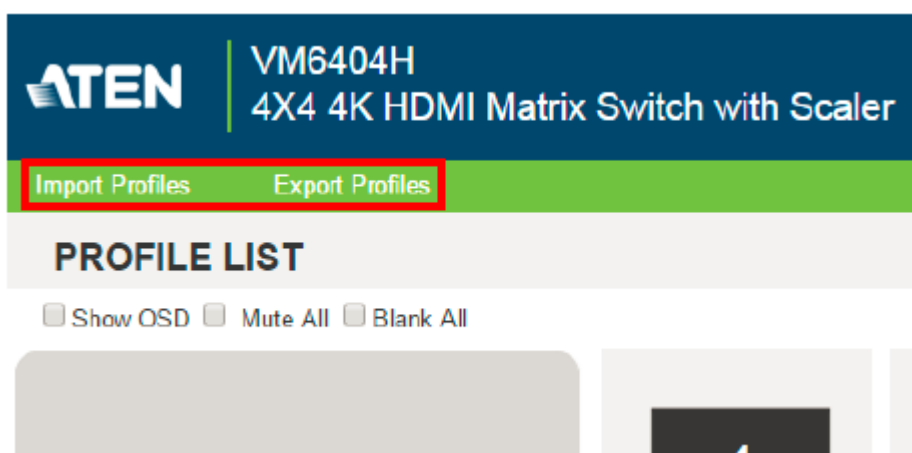
VM6404H/VM6809H の接続プロファイルをエクスポートするには、下記の手順に従って操作してください。

1. 「**Export Profiles**」(プロファイルのエクスポート)をクリックしてください。そうすると、設定ファイルのダウンロードを開始します。

接続プロファイルを VM6404H/VM6809H にインポートするには、下記の手順に従って操作してください。

1. 「**Import Profiles**」(プロファイルのインポート)をクリックしてください。
2. 設定ファイルを参照し、インポートするファイルを選択したら「**Open**」(開く)をクリックしてください。

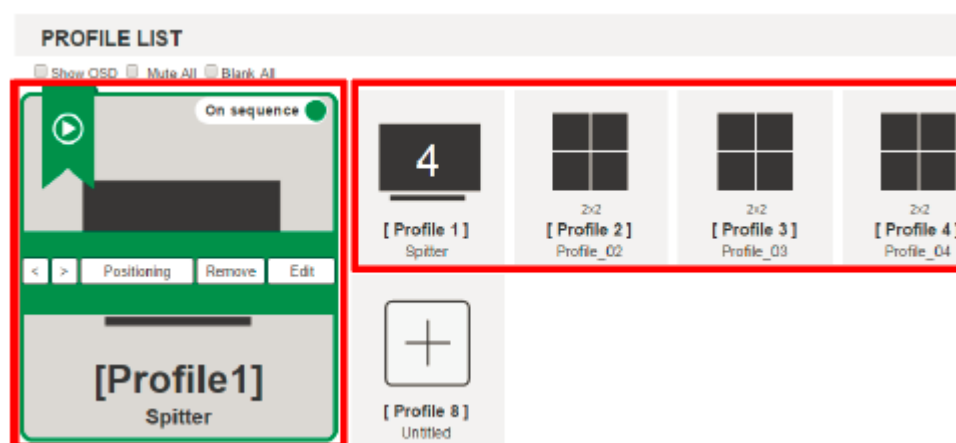
注意： 接続プロファイルのデータベースをインポートすると、現在のプロファイルを上書きします。



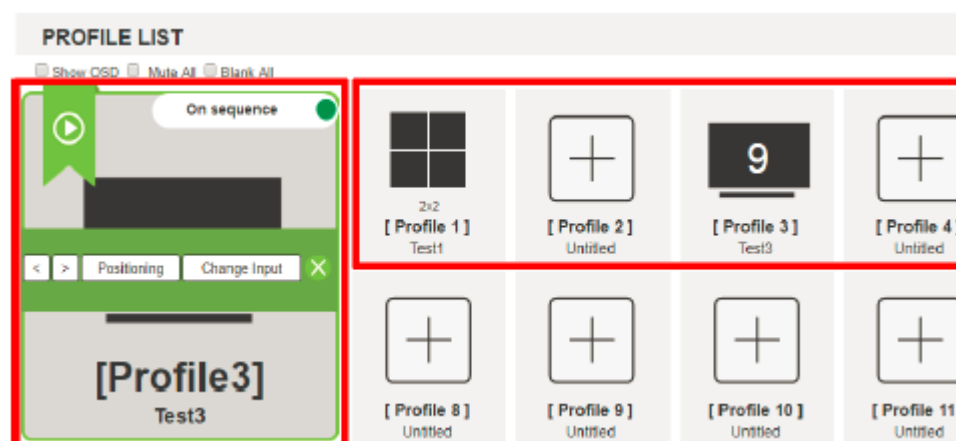
プロフィールリストのオプション

「Profile」(プロフィール)または「Play」(再生)ウィンドウをクリックすると、オプション項目が表示されたポップアップメニュー画面が開きます。

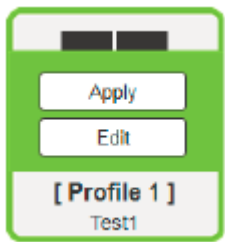
VM6404H



VM6809H



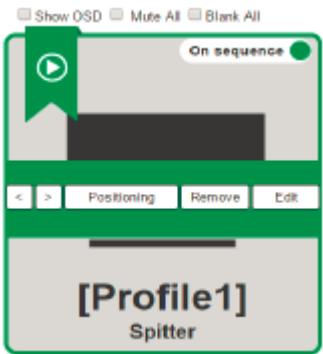
プロファイル



オプション	説明
Apply (適用)	プロファイルを反映させるには、「 Apply 」(適用)をクリックしてください。これでプロファイル(表示パターン)を開始することができます。
Edit (修正)	プロファイルの内容を変更するには、「 Edit 」(修正)をクリックしてください。

再生画面

VM6404H



VM6809H



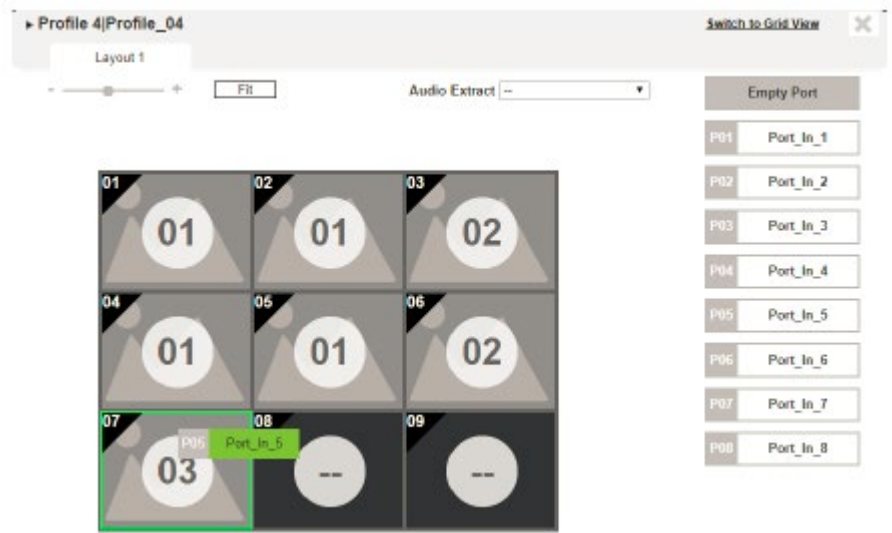
オプション	説明
On Sequence (連続再生)	「 On Sequence 」(連続再生)の項目は、スケジューリングされたプロファイルの再生中に表示されます (p.68 参照)。
<	プロファイルスケジュール機能を使用した際に、「<」をクリックすると、その前のプロファイルに戻ります。これは「On Sequence」機能を有効にした際にのみ、使用可能です。

(表は次のページに続きます)

オプション	説明
>	プロファイルスケジュール機能を使用した際に、「>」をクリックすると、その次のプロファイルに戻ります。これは「On Sequence」機能を有効にした際のみ、使用可能です。
Positioning (位置調整)	「 Positioning 」(位置調整)をクリックすると、各ディスプレイの画像位置を調整するためのウィンドウが開きます。プロファイルがビデオウォールの場合、各ディスプレイ間のラインサイズとなるディスプレイのベゼルサイズを入力することもできます。
Remove (削除) 	再生ウィンドウからプロファイルを削除します。
Edit/Change Input (修正/入力変更)	プロファイルの入力/出力設定を修正するには、VM6404Hの場合は「 Edit 」(修正)を、VM6809Hの場合は「 Change Input 」(入力変更)をそれぞれクリックしてください。

入力変更

「Change Input」(入力変更)をクリックすると、オプションがポップアップウィンドウに表示されます。



オプション	説明
	「-」をクリックするとレイアウトをズームアウトし、「+」をクリックするとレイアウトをズームインします。
	クリックするとレイアウト画面をデフォルト表示に合わせます。
	右側のポートリストからドラッグしてレイアウトの任意のディスプレイにドロップすると、入力ソースの設定や変更を行います。
	このドロップダウンメニューを使うと、オーディオを抽出してステレオオーディオに出力する入力ソースを選択します。
Switch to Grid View (グリッド表示に切り替える)	クリックすると、レイアウトをグリッド表示に切り替えます。
	クリックすると、入力変更ウィンドウを終了します。

その他

オプション	説明
Show OSD (OSDを表示する)	設定やポートを変更した際に、テキストによる更新情報を表示するには、「 Show OSD 」(OSD を表示する)にチェックを入れてください。
Mute All (全てミュート)	全てのポートのオーディオ出力をミュートにするには、「 Mute All 」(全てミュート)にチェックを入れてください。
Blank All (全て空欄)	全てのディスプレイへのビデオ出力を OFF にするには、「 Blank All 」(全て空欄)にチェックを入れてください。

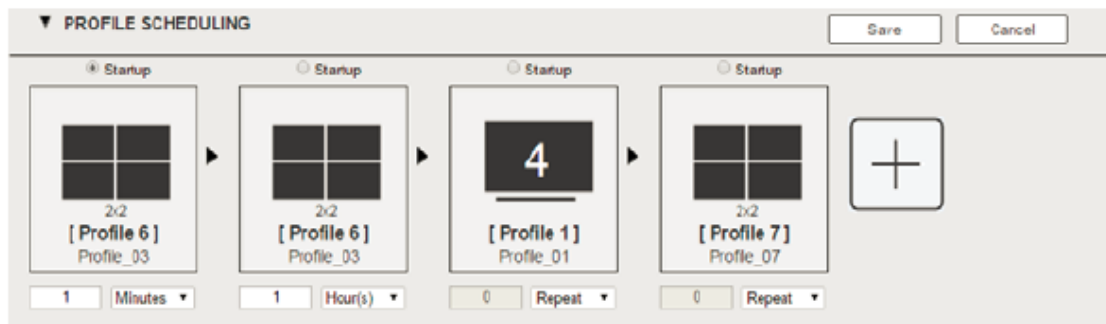
プロファイルスケジュール

「Profile Scheduling」(プロファイルスケジュール)は、プロファイルリストの下側にあります。ここでは、ある一定の時間間隔でプロファイル(表示パターン)を再生する順番を設定することができます。



オプション	説明
Edit	プロファイルのスケジュールを修正します。
Play	プロファイルのスケジュールを再生します。
Stop	プロファイルのスケジュールを停止します。
☒ Startup	プロファイルを再生キューの最初に配置します。
< >	プロファイルスケジュールの再生中に次のプロファイル、または前のプロファイルに移動します。

「Edit」(修正)を選択すると、下図のようなオプションが表示されます。



オプション	説明
	再生スケジュールに追加するプロファイルをクリックしてください。再生は左から右の順で行われます。次に、各プロファイルについて、再生時間を設定してください。 注意: VM6404H/VM6809H は時計機能を内蔵していないため、特定の時間に合わせて切替を行いたい場合は、シリアル通信経由で制御を行ってください。
	プロファイルをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。 ◆ スケジュールの開始点とするプロファイルには「Startup」(起動)を選択してください。 ◆ プロファイルを他のものに置き換える場合は、「Replace」(置換)をクリックしてください。 ◆ スケジュールからプロファイルを削除するには、「Remove」(削除)をクリックしてください。 ◆ スケジュール内の再生順序を変更する場合は「<」「>」を使用してください。
	プロファイル(表示パターン)の再生期間(時間、分、秒)をドロップダウンメニューから選択し、再生時間を入力してください。再生時間を過ぎると、次のプロファイルに切り替わります。 再生スケジュールを中止し、そのプロファイルの再生のみを行うには、「Repeat」(繰返し)を選択してください。「Repeat」(繰返し)を使用しない場合は、最初のプロファイルに戻ります。「Repeat」(繰返し)を使用する場合は、再生時間を設定することができません。また、この場合、次のプロファイルも再生されません。

(表は次のページに続きます)

オプション	説明
Save (保存)	表示されている通りに再生スケジュールを保存するには、「 Save 」(保存)をクリックしてください。保存すると、この画面は終了します。 プロファイルの再生中は再生画面に「On Sequence」(連続再生)ボックスが表示されます。
Cancel (キャンセル)	スケジュールの修正を中止し、プロファイルスケジュール画面に戻るには、「 Cancel 」(キャンセル)をクリックしてください。

接続プロファイル(表示パターン)

プロファイルの追加や再生(p.59 参照)の設定を終えると、入出力の接続プロファイルを設定することができます。プロファイル(表示パターン)には、デジタルサイネージとビデオウォールの2種類があります。**デジタルサイネージ**とは、各モニターに個別のビデオ出力を行うパターンです。そして、**ビデオウォール**のプロファイルとは、複数台のモニターをまとめて1台の大きなモニターのようにビデオ出力を行ったり、個別に表示したりと、様々なビデオ出力を行えるパターンです。

デジタルサイネージの接続設定

VM6404H

各アイコンは、出力ポートと接続モニターを表します。大きい数字は、このモニターが選択している入力ポート番号を表し、左上の小さな番号は、このモニターが接続されている出力ポート番号を表します。オプションを選択するには、アイコンをクリックしてください。



- ◆ 「Select Source」(ソースの選択)メニューから、**ビデオ入力**を選択するには、その番号のアイコンをクリックしてください。
- ◆ プロファイルの名前を変更するには、ペンのアイコンか名前 of 文字列をクリックしてください。
- ◆ 全ての出力を選択する場合は「**Select All**」(全て選択)をクリックしてください。
- ◆ 全ての出力の選択を解除する場合は「**Unselect All**」(全て非選択)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存するには「**Save**」(保存)を、別のプロファイル番号で保存するには「**Save as**」(名前を付けて保存)を選択してください。
- ◆ プロファイルの簡易版設定画面を使用する場合は、「Grid View」(グリッド表示)を選択してください(p.74 参照)。

VM6809H

デジタルサイネージ機能は、1 つ、ないしは複数の**出力ポート**とビデオ入力ソースを選択することによって、**ビデオウォール**のプロファイルを使って設定することができます。設定は VM6404H のデジタルサイネージのプロファイルと同じです。選択された**出力ポート**の表示は、デジタルサイネージのアプリケーションに対して別々の場所へと物理的に配置されます。

出力アイコン



アイコン	説明
出力アイコン	この出力アイコンをクリックすると、選択されたことを意味するグリーンの枠が表示され、「ソースの選択」メニューを使用してビデオオプションを設定することができます(下記の「ソースの選択」参照)。大きい数字はこのディスプレイに表示される ビデオ入力 ポート番号を表しています。左上の小さい数字は、このディスプレイが接続されている 出力 ポート番号を表します。
ミュート/ビデオ 	オーディオのミュートを ON/OFF するには、 スピーカー のアイコンをクリックしてください。 ビデオ表示を ON/OFF するには、 ビデオアイコン をクリックしてください。

ソースの選択

Select Source

Output: 1 2

Video Input: 1

☐ Fit Width of Output(s)
☐ Fit Height of Output(s)
☐ Scale to Whole Output(s)

* For output resolution

項目	説明
Select Source (ソースの選択)	出力アイコンをクリックすると、このソースの選択メニューが表示されます。
Output (出力)	設定を変更する出力ポート番号を表示します。
Video Input (ビデオ入力)	ドロップダウンメニューを使用して ビデオ入力 ポート番号を選択します。変更を保存するには、「 Save 」(保存)または「 Save as 」(名前を付けて保存)をクリックしてください。
ラジオボタン	◆ Fit Width of Output(s)(出力幅を一致させる):ディスプレイの幅にビデオを合わせます。 ◆ Fit Height of Output(s)(出力高さを一致させる):ディスプレイの高さにビデオを合わせます。 ◆ Scale to Whole Output(s)(全体の出力にスケーリング):ディスプレイ全体にビデオを合わせます。

グリッド表示

「Grid View」(グリッド表示)画面では、格子状の表を使用して、入力ポートと出力ポートの接続を設定できます。

Output Port * Uncheck to blank a display.

☒ ☒ ☒ ☒
o01 o02 o03 o04

Input Port

☒ i01
☐ i02
☐ i03
☐ i04

- ◆ 入力ソースデバイスとディスプレイの接続を設定するには、出力ポート番号の上にあるチェックボックスを選択してください。デフォルトでは、入力ポート 01 は出力ポート 01 に出力し、入力ポート 02 は出力ポート 02 に出力するといった要領で、左上から右下方向に斜め一行に設定されています。
- ◆ 出力ポートへのビデオ出力を無効にしたい場合は、出力ポートのボックスから**チェックを外してください**。そうすると、その列における黄色のボックスがなくなります。
- ◆ 入力ポートのラジオボタンを**選択すると**、すべての出力ポートをその入力ポートに設定します。
- ◆ 保存する前に現在のプロファイルを再生してみる場合は、「**Test**」(テスト)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存し、すぐに再生する場合は、「**Save & Apply**」(保存&適用)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存するには、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを別のプロファイル番号として保存するには、「**Save as**」(名前を付けて保存)をクリックしてください。
- ◆ 保存していない変更をすべて取り消す場合は「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

出力オプション

「Output Options」(出力オプション)に関する詳細は、p.100「出力オプション」を参照してください。

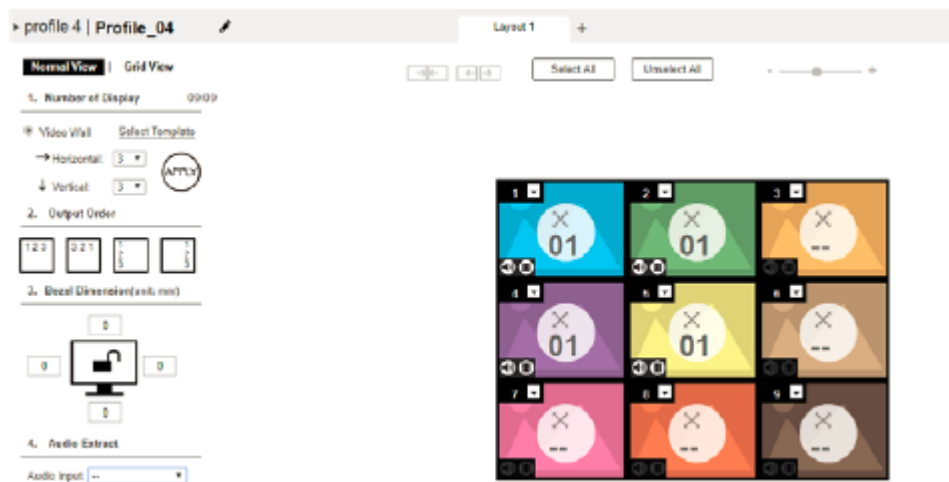
ビデオウォールの接続設定

空欄の各アイコンは、出力ポートと接続ディスプレイを表します。アイコンを使用して、ディスプレイを個別またはグループ化して、そのビデオ接続を設定することができます。**個別出力**とは、ビデオを 1 台のモニターに出力する方法です。**グループ化出力**とは、複数のモニターをグループ化して、一つの大きなディスプレイのようにしてビデオを出力する方法で、通称「ビデオウォール」と呼びます。

VM6404H(オーディオ抽出なし)



VM6809H(オーディオ抽出あり)



ビデオウォールのオプション

- ◆ アイコンをクリックして、「Display Preference」(ディスプレイ設定)メニューから、**出力ポートとビデオ入力ポート**を選択してください(p.81 参照)。
- ◆ ディスプレイをグループ化するには、複数のアイコンをクリック(p.80「グループ化」参照)した後、「Display Preference」(ディスプレイ設定)メニューから、**ビデオ入力ポート**を選択してください。

- ◆ 同一プロファイルにおいて、表示レイアウトを追加するには、「**Display Layout_1**」(表示レイアウト_1)タブの隣にある「+」をクリックしてください。
- ◆ プロファイル名を変更するには、ペンのアイコンか名前の文字列をクリックしてください。
- ◆ 全ての出力を選択する場合は「**Select All**」(全て選択)をクリックしてください。
- ◆ 全ての出力の選択を解除する場合は「**Unselect All**」(全て非選択)をクリックしてください。
- ◆ 保存する前に現在のプロファイルを再生してみる場合は、「**Test**」(テスト)をクリックしてください。
- ◆ 現在のプロファイルを保存し、再生ウィンドウに自動的に適用させる場合は、「**Save & Apply**」(保存&適用)をクリックしてください(p.64 参照)。
- ◆ プロファイルを保存するには、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを別のプロファイル番号として保存するには、「**Save as**」(名前を付けて保存)をクリックしてください。
- ◆ 変更内容を破棄してプロファイルリストに戻るには、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

VM6809H の場合は、プロファイル画面において下記 2 種類の設定が追加で利用可能となります。

オプション	説明
	「-」をクリックするとビデオウォールをズームアウトし、「+」をクリックするとビデオウォールをズームインします。
Grid View (グリッド表示)	クリックすると、レイアウトをグリッド表示に切り替えます。

ディスプレイ台数/出力順序/ベゼル幅

VM6404H

1. Number of Display 04/04

→ Horizontal: 2

↓ Vertical: 2

APPLY

2. Output Order

1 2 3 3 2 1 1 2 3 1 2 3

3. Bezel Dimension(unit: mm)

30 30 30 30

VM6809H

1. Number of Display 09/09

Video Wall Select Template

→ Horizontal: 3

↓ Vertical: 3

APPLY

2. Output Order

1 2 3 3 2 1 1 2 3 1 2 3

3. Bezel Dimension(unit: mm)

0 0 0 0

4. Audio Extract

Audio Input: --

項目	説明
Number of Displays (ディスプレイ数)	「Horizontal」(水平)および「Vertical」(垂直)ドロップダウンメニューを使用してビデオウォールを構成するディスプレイ台数(最大 64 に対応)を選択してください。これをディスプレイの実際のレイアウトに合わせてください。レイアウトを設定したら、「 Apply 」(適用)をクリックしてください。
Output Order (出力順序)	次のオプションから、いずれかを選択することで、出力ポートを自動的に割り当てます。 左→右(上→下)、右→左(上→下)、上→下(左→右)、上→下(右→左)
Bezel Dimension (モニターの額幅)	この 4 つのボックスにディスプレイの実際のモニターの額幅サイズ(単位:mm)を入力してください。モニターの額幅を校了した画像を表示します(但し、モニターの額と重なる部分の画像は表示されません)。

(表は次のページに続きます)

項目	説明
モニターのロック/ ロック解除 	モニターの額幅設定をロックするには、モニターアイコンをクリックして、4つのボックスの内、1つのボックスのモニターの額幅を変更すれば、残りの3つにも同じ変更内容が反映されます。 モニターアイコンをクリックして、モニターの額幅設定のロックを解除すれば、4つのボックスそれぞれにモニターの額幅を設定できます。
Audio Extract (オーディオ抽出)	ステレオオーディオ出力として抽出したい入力ソースをドロップダウンメニューから選択してください。

未設定の出力アイコン



項目	説明
空欄のアイコン	空欄のアイコンをクリックすると、選択されたことを意味するグリーン の枠が表示され、ディスプレイ設定メニューを使用して、ビデオオ プションを設定できます (p.81「ディスプレイ設定」参照)。 ディスプレイに個別表示するには、アイコンを 1 つクリックして、出 力ポート番号とビデオ入力番号を設定してください(下記の「個別 出力」参照)。 ビデオウォール表示する場合は、複数のアイコンを選択してから、 ビデオ入力番号を選択してください(p.80「グループ化」参照)。 注意:最初に各アイコンに対して出力ポートを設定する必要があります。
ドロップダウンメニュー	ドロップダウンメニューから出力ポートを選択してください。

個別出力



項目	説明
個別出力	個別出力の場合、選択しているビデオ入力ポート番号と出力ポート番 号が表示されます。つまり、 ◆ 各ディスプレイにそれぞれビデオが表示されます。 ◆ アイコンには個別に色が付けられ、ビデオ入力番号が表示されま す。 「Independent Output」(個別出力)を選択してから、「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニュー (p.81 参照)を使ってビデオ入 力ポート番号を選択してください。

(表は次のページに続きます)

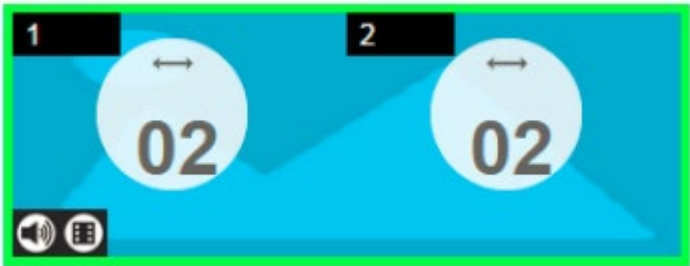
項目	説明
ドロップダウンメニュー	ドロップダウンメニューから出力ポートを選択してください。
ミュート/ビデオ 	オーディオのミュートを ON/OFF するには、 スピーカー のアイコンをクリックしてください。 ビデオ表示を ON/OFF するには、 ビデオ アイコンをクリックしてください。

グループ化



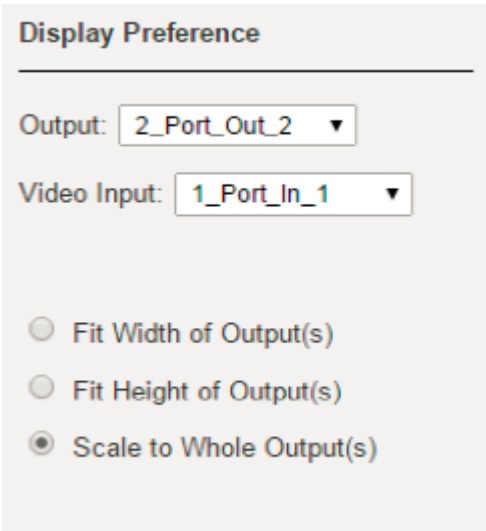
項目	説明
グループ化	モニターをグループ化するには、グループ化したいアイコンをクリックすると、グリーンの色がつかれます。左上にある「→ ←」をクリックして、これらのモニターを 1 台のモニターのようになるようにグループ化してください。「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニューからこのグループに割り当てるビデオ入力ポート番号を選択してください。各出力アイコンはグループ化され、同じビデオ入力番号と色で表されます (p.81「グループ出力」参照)。 注意:グループ化を行う前に、各アイコンに出力ポートを割り当ててください。
グループ化の解除	グループ化を解除したいグループを選択してから、「← →」をクリックしてください。

グループ出力



項目	説明
グループ出力	(出力の)グループは同じビデオ入力ポートを共有し、1 つの画面としてビデオ出力します。つまり、 ◆ 複数台のモニターを 1 つの画面としてビデオ表示します。 ◆ アイコンには同じ色とビデオ入力番号が表示されます。 ◆ 「Group」(グループ)を選択してから、「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニュー (p.81 参照)からビデオ入力ポート番号を選択してください。 ◆ 出力をグループ化するには、p.80「グループ化」を参照してください。
ミュート/ビデオ 	オーディオのミュートを ON/OFF にするには、スピーカーのアイコンをクリックしてください。 ビデオ表示を ON/OFF にするには、ビデオアイコンをクリックしてください。

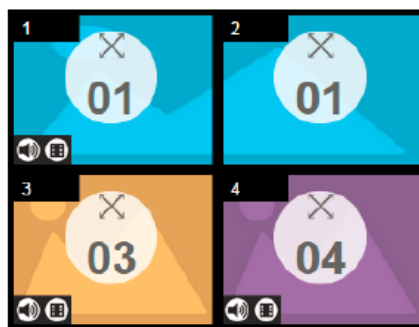
ディスプレイ設定



項目	説明
Display Preferences (ディスプレイ設定)	出力アイコンをクリックすると、この選択メニューが表示され、出力ポートやビデオ入力ポートを選択できます。
Outputs (出力)	ドロップダウンメニューを使用して出力ポート番号を選択します (個別設定と空欄のアイコンのみ)。 複数のモニターを選択した場合、選択した出力ポートがここに表示されます。出力アイコンのドロップダウンメニューを使用して、表示する出力ポートを選択してください。
Video Input (ビデオ入力)	ドロップダウンメニューを使用してビデオ入力ポートを選択してください。
ラジオボタン	◆ Fit Width of Output(s) (出力幅を一致させる) : ディスプレイの幅にビデオを合わせます。 ◆ Fit Height of Output(s) (出力高さを一致させる) : ディスプレイの高さにビデオを合わせます。 ◆ Scale to Whole Output(s) (全体の出力にスケーリング) : ディスプレイ全体にビデオを合わせます。

ビデオウォールの例

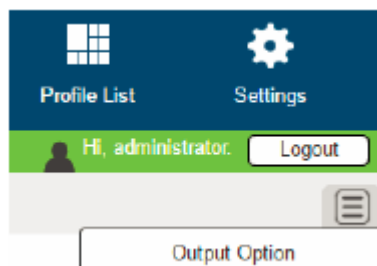
下図は 4 台のモニターを使用したビデオウォールの例です。



- ◆ グループ化された出力と個別出力に設定されているアイコンにはそれぞれに異なる色が付けられます。
- ◆ この例の場合、グループ化(ビデオウォール)出力が 1 つと個別表示が 2 つあります。
- ◆ この例の場合、グループ化されたアイコンは、入力ポート 01 のビデオが 2 台のディスプレイに 1 つの画面として表示されることを表しています。
- ◆ 個別出力と設定したディスプレイには、その表示するビデオ入力ポート番号がそれぞれ 03 と 04 であることが表わされています。
- ◆ さらに、ビデオウォールを作成するには、表示レイアウトを追加してください(p.75「ビデオウォールのオプション」参照)。

出力オプション

「Output Options」(出力オプション)画面では、HDMI ビデオが設定できます。VM6809H の「Output Options」(出力オプション)は「Settings」(設定)の「Video」(ビデオ)タブにあります。



HDMI ビデオオプション

「HDMI Video Options」(HDMI ビデオオプション)では、入力ポートを変更した際に、モニターの動作をどうするかを決めるシームレス切替オプションを設定できます。

Port	*Seamless Switch	Transition	Period	Scale Resolution
	Apply to All ▼	Apply to All ▼	Apply to All ▼	Apply to All ▼
Port1	☒ ON	☐ OFF	—	1280x720@60Hz(720 ▼)
Port2	☒ ON	☐ OFF	—	1280x720@60Hz(720 ▼)
Port3	☒ ON	☐ OFF	—	1280x720@60Hz(720 ▼)
Port4	☒ ON	☐ OFF	—	1280x720@60Hz(720 ▼)

注意: シームレス切替機能を有効にしている場合は、下記の点にご注意ください。

1. 「Transition」(トランジション)、「Period」(時間の長さ)、「Scale Resolution」(解像度)の各オプションを有効にすることができます。
2. ビデオ出力で 3D や Deep Color、インターレース解像度(すなわち 1080i)が正しく表示されない場合があります。これらの機能を使用する場合は、あらかじめシームレス切替機能を無効にしておいてください。
3. ビデオ表示が画面に収まらない(画面に合わない)ことがあります。この場合は、お使いの機器で表示設定を調整してください。

入力ポートの切替時に発生するビデオの歪みや遅延を解消するには、シームレス切替機能を有効にしてください。この場合、ドロップダウンメニューを使って設定内容をすべてのポートに適用するか、ON/OFF ボタンを使ってポートごとにシームレス切替機能を有効または無効に設定してください。シームレス切替機能が有効である場合、下記のオプションが有効になります。

- ◆ **Transition**(トランジション): 入力ポートを変更した際にビデオ表示をフェードアウトさせることができます。このフェードアウトさせるスピードは、「Period」(時間の長さ)で設定することができます。
 - ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(全てに適用)を選択するか、ポート毎に「ON/OFF」を選択して、この機能の有効/無効を設定してください。
- ◆ **Period**(時間の長さ): ビデオ表示のフェードアウト時間を設定できます。
 - ドロップダウンメニューから全てのポートまたは各ポートに対して「Slow」(ゆっくり)、「Normal」(普通)、「Fast」(速い)を選択してください。
- ◆ **Scale Resolution**(解像度): 選択した解像度でビデオを表示するようにスケーリングします。上部のドロップダウンメニューを使って「Apply to All」(全てに適用)を選択するか、各ポートの右側にあるドロップダウンメニューから各ポートに適用する解像度を選択してください。設定可能なオプションは下記のとおりです。

560×360@60Hz

720×576@50Hz

768×480@60Hz

1920×1080@30Hz

1280×800@60Hz

1280×1024@60Hz

1366×768@60Hz

1400×1050@60Hz

1600×900@60Hz

1600×1200@60Hz

1920×1200@60Hz

1920×1080@50Hz

1920×1080@60Hz

2560×1080@60Hz

3440×1440@50Hz

3840×2160@24Hz

3840×2160@25Hz

3840×2160@30Hz

4096×2160@24Hz

4096×2160@25Hz

4096×2160@30Hz

3840×2160@50Hz (4:2:0)

3840×2160@60Hz (4:2:0)

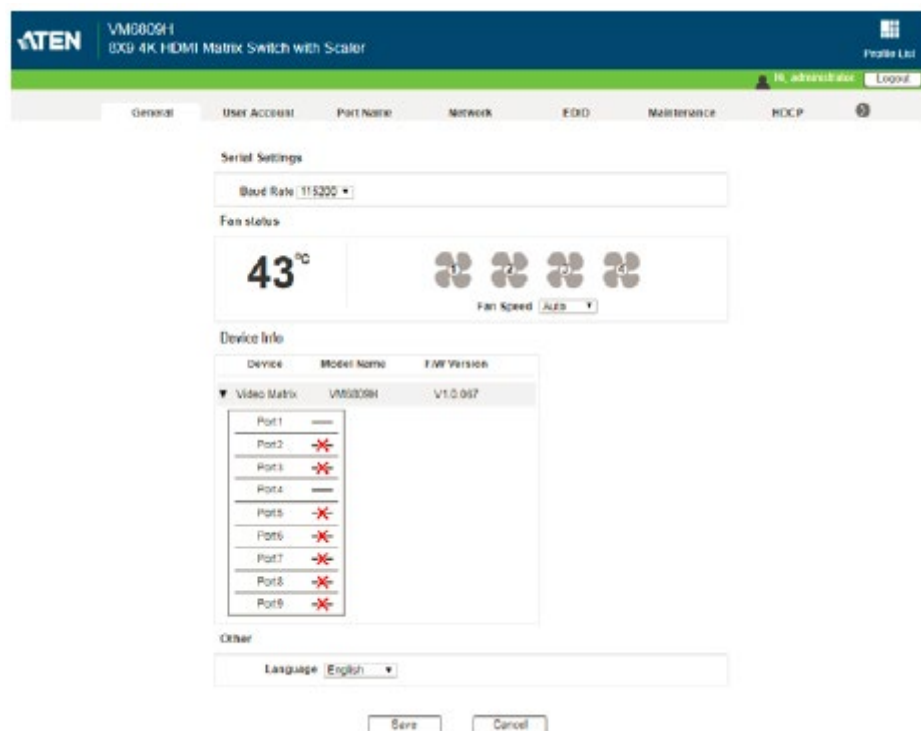
4096×2160@50Hz (4:2:0)

4096×2160@60Hz (4:2:0)

- ◆ 保存する前に現在のプロファイルを再生してみる場合は、「**Test**」(テスト)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存するには、「**Save**」(保存)をクリックしてください。また、プロファイルを別のプロファイル番号として保存するには、「**Save as**」(名前を付けて保存)をクリックしてください。
- ◆ 現在のプロファイルを保存し、再生ウィンドウに自動的に適用させる場合は、「**Save & Apply**」(保存&適用)をクリックしてください(p.64 参照)。
- ◆ 変更内容を破棄してプロファイルリストに戻るには、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

システム設定

「System Settings」(システム設定)のメイン画面から「Settings」(設定)をクリックすると、「**General**」(一般)画面が開きます。



- ◆ 「General」(一般)画面では、ボーレート、言語、および冷却ファンを設定したり、デバイス情報を確認したりすることができます。
- ◆ 「User Account」(ユーザーアカウント)画面では、ユーザーアカウントの追加や修正ができます。
- ◆ 「Port Name」(ポート名)画面では、入力ポートおよび出力ポートのそれぞれに名前を付けることができます。
- ◆ 「Network」(ネットワーク)画面では、ネットワークの設定ができます。
- ◆ 「EDID」画面では、EDID モードが設定できます。
- ◆ 「Maintenance」(メンテナンス)画面では、製品のファームウェアをアップグレード、バックアップ、およびリストアを行うことができます。
- ◆ 「HDCP」画面では、HDCP キーの参照や設定を行うことができます。
- ◆ 「OSD/CEC」画面では、ポート OSD や CEC の設定を管理することができます。
- ◆ 「Video」(ビデオ)画面では、入力ポートを変更した際に、モニターの動作をどうするのかを決めるシームレス切替オプションを設定できます。

- ◆ 「Read Status」(読込状況)画面では、ビデオマトリックススイッチャーの状態の概要が一覧表示されます。ここには、システムネットワーク、デバイス情報、ビデオ接続、オーディオ接続、CEC、OSD、出力解像度といった情報が含まれます。
- ◆ メイン画面に戻るには、「**Profile List**」(プロフィールリスト)をクリックしてください。

一般

「General」(一般)画面は、「Serial Settings」(シリアル設定)、「Fan Status」(ファンの状態)、「Device Info」(デバイス情報)、「Other」(その他)の、4つのセクションから構成されています。

シリアル設定

- ◆ 「Baud Rate」(ボーレート)ドロップダウンメニューから、シリアルポートのボーレート設定を選択してください。
 - 選択可能な値:9600、19200、38400、115200

ファンの状態

- ◆ このセクションには、ビデオマトリックススイッチャーに搭載されているファンの状態が表示されます。
- ◆ VM6404H/VM6809H は、ファンの回転速度を手動で選択できるドロップダウンメニューも提供しています。



注意: ファンの動作が停止している場合やファンの電源が OFF になっている場合、ファンのアイコンは右のような表示に変わります。



デバイス情報

- ◆ このセクションには、デバイスの種類、型番、ファームウェアバージョン、および接続の状況が一覧で表示されます。

Device Info		
Device	Model Name	F/W Version
▼ Video Matrix	VM6404H	V1.1.108
Port1	✗	
Port2	✗	
Port3	✗	
Port4	✗	

その他

- ◆ 「Language」(言語)ドロップダウンメニューから、ユーザーインターフェースで優先的に使用する言語を選択してください。

➤ 選択可能な言語: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語

Other

Language	English ▼	Baud Rate	19200 ▼
----------	-----------	-----------	---------

ユーザーアカウント

「User Account」(ユーザーアカウント)画面では、ユーザー情報の追加・編集・削除、および VM6404H/VM6809H の GUI にアクセスする際に使用するパスワードの変更を行うことができます。

注意: これは管理者に限定された機能です。



User Name	Level	Description
administrator	Administrator	Default_User
user_1	Basic User	User_Account

- ◆ **Add account** (アカウントの追加) - このボタンをクリックすると、リストに新規ユーザーを追加します。VM6404H/VM6809H は最大 32 ユーザーに対応し、最大 16 ユーザーによる同時アクセスが可能です(詳細は p.91 を参照)。
- ◆ **Edit** (編集) - このボタンをクリックすると、ユーザー情報を変更します。管理者は、このオプションを使って個々のアカウントを編集することができます。

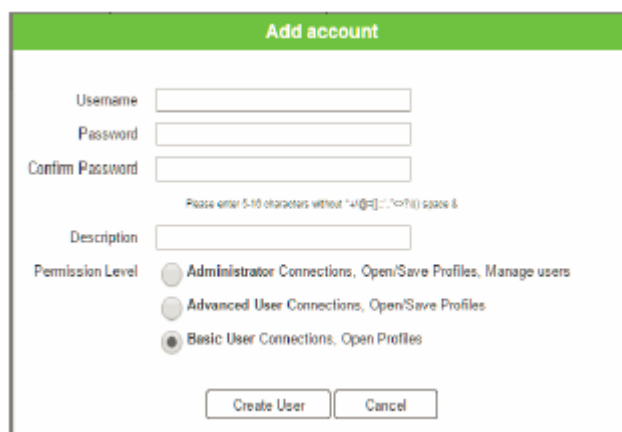


User Name	Level	Description
Edit 111111	Administrator	111111
Edit 12345	Administrator	12345
Edit administrator	Administrator	Default_user

- **Edit** (編集) - ユーザー名の変更、パスワードの設定、説明情報の追加、ユーザーの操作権限の設定(詳細は p.91 を参照)を行います。
 - **Delete** (削除) - このアイコンをクリックすると、選択したユーザーとこのユーザーに関連付けられたすべてのユーザー情報を削除します。アドミニストレーターのアカウントは削除することができません。
- ◆ デフォルトの管理者のユーザー名は「administrator」、パスワードは「password」です。

アカウントの追加

「Add Account / Edit User」(アカウントの追加/ユーザーの編集)画面では、ユーザーネームの設定、パスワードの設定、説明情報の追加、および VM6404H/VM6809H の GUI アクセス時におけるユーザーの操作権限の設定(詳細は p.92「操作権限」を参照)を行います。



The screenshot shows a dialog box titled "Add account". It has the following fields and options:

- Username**: A text input field.
- Password**: A text input field.
- Confirm Password**: A text input field.
- Description**: A text input field with a note below it: "Please enter 5-16 characters without '~!@#[]<?>|() space &".
- Permission Level**: Three radio button options:
 - ☐ Administrator Connections, Open/Save Profiles, Manage users
 - ☐ Advanced User Connections, Open/Save Profiles
 - ☒ Basic User Connections, Open Profiles
- Buttons**: "Create User" and "Cancel".

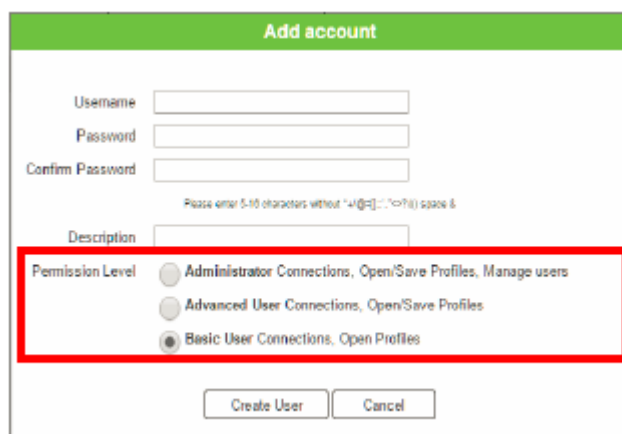
- ◆ 「Username」(ユーザー名)欄に、ユーザーネームを新規で入力するか、既存のユーザーネームを編集してください。
- ◆ 「Password」(パスワード)欄にパスワードを入力したら、「Confirm Password」(確認用パスワード)欄にも、このパスワードと同じ文字列を入力してください。

注意: ユーザーネームとパスワードは各種言語の文字に対応し、必ず 5～16 文字を使用してください(ただし、.;=[+="/?¥|は使用不可)。パスワードは大文字/小文字を区別しますが、ユーザー名は小文字にのみ対応しています。

- ◆ ユーザーに関する説明を追加または修正してください。
- ◆ ユーザーに付与したい操作権限を選択してください(p.92「操作権限」参照)。
- ◆ データを保存するには、「**Create User**」(ユーザーの作成)をクリックしてください。
- ◆ すべての変更を中止して終了するには「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。
- ◆ ユーザーが VM6404H/VM6809H の GUI からログインした場合、ユーザー設定を修正することはできず、この画面の入力欄の色がグレーに変わります。

操作権限

ユーザーの「New/Edit User」(ユーザーの新規/編集)画面の下側にある「Permission」(操作権限)セクションを使用して、ユーザーの操作権限を設定することができます。



The screenshot shows a web form titled "Add account" with a green header. The form contains several input fields: "Username", "Password", "Confirm Password", and "Description". Below these fields is a "Permission Level" section, which is highlighted with a red rectangular box. This section contains three radio button options: "Administrator Connections, Open/Save Profiles, Manage users", "Advanced User Connections, Open/Save Profiles", and "Basic User Connections, Open Profiles". The "Basic User" option is selected. At the bottom of the form are two buttons: "Create User" and "Cancel".

次の3種類の操作権限が利用可能です。

- ◆ **Administrator** (アドミニストレーター) — このレベルはユーザー管理に加え、VM6404H/VM6809H のアクセスと操作の権限のすべてを持っています。
- ◆ **Advanced User** (上級ユーザー) — このレベルは VM6404H/VM6809H のアクセスと操作の権限のすべてを持っていますが、ユーザー管理の権限は持っていません。
- ◆ **Basic User** (基本ユーザー) — このレベルは基本的な機能(接続、プロファイルの呼び出し)に関する権限しか持っていません。

ポート名

「Port Name」(ポート名)の画面では、識別がしやすいように入力および出力ポートに名前を付けることができます。

The screenshot displays two side-by-side panels for naming ports. The left panel, titled 'Output Port', contains four rows labeled Port1 through Port4. Each row has a port number (01, 02, 03, 04) and a text input field. The right panel, titled 'Input Port', also contains four rows labeled Port1 through Port4, each with a port number and a text input field. The input fields in the 'Input Port' panel contain the text 'Port_in_1', 'Port_in_2', 'Port_in_3', and 'Port_in_4' respectively.

Output Port	
Port1	01_kjh_kll
Port2	02_Port_Out_2
Port3	03_Port_Out_3
Port4	04_Port_Out_4

Input Port	
Port1	01_Port_in_1
Port2	02_Port_in_2
Port3	03_Port_in_3
Port4	04_Port_in_4

- ◆ 入力/出力ポートに名前を付けるには、対応する欄に16文字までの名前を入力してから「**Save**」(保存)をクリックしてください(：；=□+=/?¥|は入力不可)。
- ◆ 入力対応言語は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、中国語(繁体字/簡体字)です。
- ◆ 入力/出力ポート名を変更するには、対応する欄の名前を編集した後、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ 入力ポートと出力ポートには同じ名前を付けることができます。
- ◆ 保存したポート名をすべて消去して、デフォルトのポート名に戻すには、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

ネットワーク

「Network」(ネットワーク)画面では、VM6404H/VM6809H に接続するための IP 設定、Web サイトのタイムアウト設定および Telnet 設定を行うことができます。

DHCP	☒ Enable ☐ Disable
IP Address	
Subnet Mask	
Default Gateway	
Website Timeout	N/A ▼
MAC Address	00:10:74:B3:00:06
Telnet	☒ Enable ☐ Disable

DHCP を**有効**にすると、DHCP サーバーが VM6404H/VM6809H に IP アドレスを割り当てます。固定 IP アドレスを使用する場合は、「**Disable**」(**無効**)を選択してください。

下記のデフォルト設定を使用する場合は、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

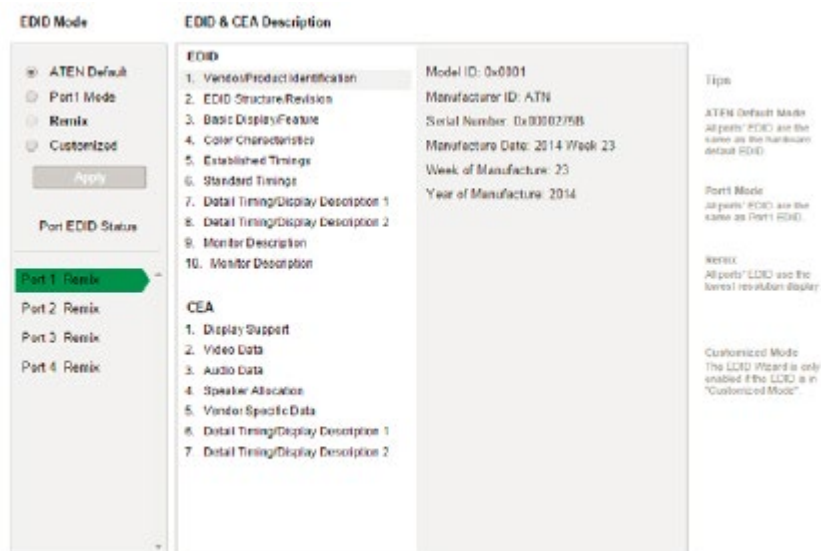
- ◆ IP アドレス - 192.168.0.60
- ◆ サブネットマスク - 255.255.255.0
- ◆ デフォルトゲートウェイ - 192.168.0.1
- ◆ Web サイトタイムアウト* - 5 分
- ◆ Telnet - 有効

入力を終わったら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。保存には数秒かかることがあります。画面が更新されたら、入力した IP アドレスへ自動的にリダイレクトします。

* このオプションは VM6404H/VM6809H にログインした後、Web 接続中に操作が行われな
い時間が経過したらログアウトするかを管理します。このオプションを無効にするには、
「N/A」を選択してください。有効にする場合は、5 分、10 分、30 分、60 分のいずれかを設
定することができます。どの変更もすぐに有効となります。

EDID

「EDID Settings」(EDID 設定)画面では、VM6404H/VM6809H がディスプレイに対して最適な解像度を適用できるように、EDID モードを参照したり選択したりすることができます。



注意: EDID モードは、フロントパネルにあるプッシュボタンからも選択可能です (p.40「EDID モード」参照)。

EDID は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。

EDID モード

画面の左側にある「EDID Mode」(EDID モード)ラジオボタンを使用して、あらかじめ設定されている EDID モードを選択できます。

EDID Mode

☒ ATEN Default
☐ Port 1 Mode
☐ Remix
☐ Customized

Apply

Port EDID Status

Port 1 Remix
Port 2 Remix
Port 3 Remix
Port 4 Remix

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification
2. EDID Structure/Revision
3. Basic Display/Feature
4. Color Characteristics
5. Established Timings
6. Standard Timings
7. Detail Timing/Display Description 1
8. Detail Timing/Display Description 2
9. Monitor Description
10. Monitor Description

CEA

1. Display Support
2. Video Data
3. Audio Data
4. Speaker Allocation
5. Vendor Specific Data
6. Detail Timing/Display Description 1
7. Detail Timing/Display Description 2

Model ID: 0x0001
Manufacturer ID: ATN
Serial Number: 0x0000276B
Manufacture Date: 2014 Week 23
Week of Manufacture: 23
Year of Manufacture: 2014

Tips

ATEN Default
All ports' ED same as the default EDID

Port 1 Mode
All ports' ED same as Port 1

Remix
All ports' ED lowest refresh

Customize
The EDID V enabled if the "Customize"

左上にある EDID モードを選択したら、「Apply」(適用)をクリックしてください。
VM6404H/VM6809H は選択した EDID モードを使用するようになります。

オプションは下記の通りです。

- ◆ **ATEN Default** (ATEN デフォルト) : 本体内蔵の EDID をすべての入力ポートに適用します。
- ◆ **Port 1 Mode** (ポート 1 モード) : HDMI 出力ポート番号 1 に接続されたディスプレイの EDID をすべての入力ポートに適用します。
- ◆ **Remix** (リミックス) : 全ポートの EDID は最適な解像度を使用します。
- ◆ **Customized** (カスタマイズ) : p.97「カスタマイズモード」を参照してください。

カスタマイズモード

「Customized Mode」(カスタマイズモード)では、最適に出力できるようユーザー定義の EDID を設定できる EDID ウィザードを特長とします。

The screenshot shows the 'EDID Mode' configuration window. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. Below it, 'Port EDID Status' shows 'Port 1 Customized' selected. On the right, 'EDID & CEA Description' shows a list of EDID fields (1-10) and CEA fields (1-7). A red box highlights the 'Retrieve EDID' and 'Save' buttons at the top right, and another red box highlights the 'Customized' mode and 'Port 1 Customized' status on the left.

- ◆ 画面の一番左側のパネルにある「EDID Mode」(EDID モード)セクションから「Customized」(カスタマイズ)を選択し、「Apply」(適用)をクリックしてください。
- ◆ **Port EDID Status**(ポート EDID の状態)：EDID 設定を保存したい入力ソースポートを選択してください。
- ◆ **Retrieve EDID**(EDID の読込)：クリックすると、すでに入力ソース側に送信している「カスタマイズ」(01～04 または 01～08 から選択)、本体内蔵の「ATEN デフォルト」※、接続中のディスプレイの EDID を読み出す「ディスプレイモード」のいずれかを呼び出して参照できるポップアップウィンドウが表示されます。読み込みを行うポートを選択してください。

※ 本体内蔵の EDID を変更する場合は、RS-232 コマンドからのみ変更可能です。

The screenshot shows a 'Caution' dialog box. The title bar is green with the word 'Caution' in white. The text inside says 'Select a port to retrieve.' Below this, there are two dropdown menus: the first is set to 'Customized' and the second is set to 'Customized EDID 01'. At the bottom are 'OK' and 'Cancel' buttons.

- ◆ 右側のパネルに、保存されている EDID 設定の概要が表示されます。この概要は、ここで修正することができます。セッションの間、この設定を「Current」(現在の)ポートまたは「All Ports」(すべてのポート)に適用するかを選択してから「Save」(保存)をクリックしてください。

Save

Save changes to the current port or all ports?

Current

All Ports

Cancel

EDID & CEA 説明

画面の右側のパネルには、選択された EDID および CEA モードの設定内容が参照できます。

EDID Mode

☐ ATEN Default
☐ Port1 Mode
☐ Remix
☒ Customized

Apply

Port EDID Status

Port 1 Customized
Port 2 Customized
Port 3 Customized
Port 4 Customized

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification
2. EDID Structure/Revision
3. Basic Display/Feature
4. Color Characteristics
5. Established Timings
6. Standard Timings
7. Detail Timing/Display Description 1
8. Detail Timing/Display Description 2
9. Monitor Description
10. Monitor Description

CEA

1. Display Support
2. Video Data
3. Audio Data
4. Speaker Allocation
5. Vendor Specific Data
6. Detail Timing/Display Description 1
7. Detail Timing/Display Description 2
8. Detail Timing/Display Description 3
9. Detail Timing/Display Description 4

Retrieve EDID Save

Model ID: 0x0001
Manufacturer ID: ATN
Serial Number: 0x00000000
Manufacture Date: 2014 Week 23
Week of Manufacture: 23
Year of Manufacture: 2014

- ◆ 左側の欄から、参照または変更したいオプションをクリックしてください。この欄には、EDID および CEA という 2 つのカテゴリがあります。
- ◆ 左側の欄のメニュー項目を選択すると、対応する EDID の現在の設定内容が画面の右側に表示されます。メニュー項目の中には読取専用のものがあります。
- ◆ この 2 つの欄に関する詳細は、p.100「EDID パラメーターのカスタマイズ」を参照してください。

EDID パラメーターのカスタマイズ

EDID データの構造は、全部で 128 バイトから構成されており、左側の欄に表示された各見出しにある数字はバイト数を表しています。

プリセットされた EDID モード (Port 1、Default、Remix) は、編集できません。カスタマイズ EDID の画面は編集可能で、以下のセクションで説明します。

タイミングの設定

「Established Timing」(タイミングの設定) 画面には、ディスプレイデバイスがサポートするビデオ解像度/タイミングが一覧表示されます。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, under 'EDID Mode', 'Port 1 Customized' is selected. The main area is divided into 'EDID' and 'CEA' sections. The 'Established Timings' section under EDID is highlighted with a red box. It contains a list of video modes with checkboxes. The 'Clear' and 'Select All' buttons are at the bottom of this list.

Resolution / Timing	Selected
720x400 @ 70Hz	☒
720x400 @ 88Hz	☐
640x480 @ 60Hz	☒
640x480 @ 67Hz	☒
640x480 @ 72Hz	☒
640x480 @ 75Hz	☒
800x600 @ 56Hz	☒
800x600 @ 60Hz	☒
800x600 @ 72Hz	☒
800x600 @ 75Hz	☒
832x624 @ 75Hz (Apple Macintosh II)	☐
1024x768 @ 87Hz Interlaced (1024x768)	☐
1024x768 @ 60Hz	☒
1024x768 @ 70Hz	☒
1024x768 @ 75Hz	☒
1280x1024 @ 75Hz	☒
1152x870 @ 75Hz (Apple Macintosh II)	☐

- ◆ 接続モニター/ディスプレイに適用したい解像度を選択してください。
- ◆ 項目全てを非選択にするには、「Clear」(クリア)をクリックしてください。
- ◆ 項目全てにチェックを入れるには、「Select All」(全て選択)をクリックしてください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

標準タイミング

「Standard Timings」(標準タイミング)画面では、「Established Timings」(タイミングの設定)画面に表示された解像度/タイミングに加えて、ディスプレイデバイスが対応可能な8種類の解像度/タイミングを表示します。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, 'EDID Mode' is set to 'Customized'. The 'EDID' section lists 10 items, with 'Standard Timings' (item 6) selected. The 'CEA' section lists 9 items. A table of 8 standard timings is displayed, with the 'H Active Pixel' and 'Aspect Ratio' columns highlighted by a red box.

H Active Pixel	V Active Pixel	R Refresh Rate	Aspect Ratio
H 1600 ▼	V 1200	R 60	4:3 ▼
H 1280 ▼	V 1024	R 60	5:4 ▼
H 1400 ▼	V 1050	R 60	4:3 ▼
H 1440 ▼	V 900	R 60	16:10 ▼
H 1680 ▼	V 1050	R 60	16:10 ▼
H 1920 ▼	V 1080	R 60	16:9 ▼
H 1280 ▼	V 800	R 60	16:10 ▼
H 1920 ▼	V 1200	R 60	16:10 ▼

- ◆ 「H Active Pixel」(垂直アクティブピクセル)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。
- ◆ 「Aspect Ratio」(アスペクト比率)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

タイミング/ディスプレイの詳細説明

「Detail Timing/Display Description」(タイミング/ディスプレイの詳細説明)画面には、ビデオ解像度の更なるオプションと解像度/タイミングの詳細説明があります。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, 'EDID Mode' is set to 'Customized'. The 'EDID' section lists 10 items, with 'Detail Timing/Display Description 1' (item 7) selected. The 'CEA' section lists 9 items. The 'Resolution' dropdown menu is highlighted by a red box.

Resolution: Resolution ▼

Pixel Clock(MHz): 25.17

Stereo Display
Interlaced: Non-Interlaced
Stereo Mode: none
Sync type: Digital Separate
Positive Vsync Polarity: no
Positive Hsync Polarity: no

Resolution Detail	
	Horizontal/Vertical
Image Size	mm mm
Active PXL	pixel lines
Blanking Time	pixel lines
Sync Offset	pixel lines
Sync Width	pixel lines
Border	pixel lines

ドロップダウンメニューから、接続モニター/デバイスに合う解像度の値を選択して、「Save」(保存)をクリックしてください。

モニターの詳細

「Monitor Description」(モニターの詳細)画面では、モニターやディスプレイデバイスの水平/垂直スキャン範囲やピクセルクロックレートといった表示スペックを設定します。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. The 'EDID & CEA Description' section on the right has a list of items, with '10. Monitor Description' selected. A red box highlights the 'Monitor Description' configuration area, which includes the following fields:

	Minutes	Max
Horizontal Scan Range:	15	102
Vertical Scan Range:	23	121
Pixel Clock Rate: (MHz)	80	(10-2550)

ご使用のデバイスに合う値を入力してから、「Save」(保存)をクリックして、この変更を適用させてください。

CEA 設定

「CEA」は EDID の拡張データで、EDID の標準定義をさらに拡張して、モニター/ディスプレイデバイスの詳細な機能に対応させたものです。

ディスプレイサポート

「Display Support」(ディスプレイサポート)画面では、ディスプレイの基本的なデジタルコンポーネントを表示します。

The screenshot shows a software interface for configuring EDID and CEA data. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. The main area is titled 'EDID & CEA Description' and contains two columns. The left column lists EDID fields (1-10) and CEA fields (1-3). The right column shows the corresponding values. A red box highlights the 'YCbCr' section, where both 'YCbCr444' and 'YCbCr422' are checked. Buttons for 'Retrieve EDID' and 'Save' are at the top right.

EDID Mode	EDID & CEA Description
- ATEN Default - Port1 Mode - Remix Customized Apply Port EDID Status Port 1 Customized - Port 2 Customized - Port 3 Customized - Port 4 Customized	EDID 1. Vendor/Product Identification 2. EDID Structure/Revision 3. Basic Display Feature 4. Color Characteristics 5. Established Timings 6. Standard Timings 7. Detail Timing/Display Description 1 8. Detail Timing/Display Description 2 9. Monitor Description 10. Monitor Description CEA 1. Display Support 2. Video Data 3. Audio Data

Revision: 0x03
Underscan: no
Basic Audio: yes
YCbCr: ☒ YCbCr444 ☒ YCbCr422

Retrieve EDID Save

ご使用のディスプレイに合う YCbCr モードを選択してから、「Save」(保存)をクリックしてください。

ビデオデータ

「Video Data」(ビデオデータ)画面には、PC モニター以外のその他のデバイスで対応しているビデオ解像度/タイミングのディスプレイを追加表示しています(例:1080i)。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, 'EDID Mode' has 'Customized' selected. The 'EDID' section lists 10 items, with 'Monitor Description' selected. The 'CEA' section lists 9 items, with 'Video Data' selected. The 'Native' dropdown is set to '1920 x 1080i @ 59.94/60Hz 16:9'. The 'Resolutions' list shows various options, with '1920 x 1080i @ 59.94/60Hz 16:9' selected. The 'YCBCR 4:2:0 Video Support' section shows options for 3840x2160p and 4096x2160p at 50Hz and 59.94/60Hz.

- ◆ 接続ディスプレイデバイスの元の解像度を選択してください。
- ◆ 接続モニター/ディスプレイで動作する解像度、リフレッシュレート、アスペクト比率を選択してください。
 - 代わりに、サポート対象である YCBCR 4:2:0 から選択することも可能です。
- ◆ 項目全てを非選択にするには、「Clear」(クリア)をクリックしてください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

オーディオデータ

「Audio Data」(オーディオデータ)画面では、デバイスに対するオーディオの詳細設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'Audio Data' configuration window. On the left, there's a sidebar with 'EDID Mode' (ATEN Default, Port1 Mode, Remix, Customized) and 'Port EDID Status' (Port 1 Customized, Port 2 Customized, Port 3 Customized, Port 4 Customized). The main area is 'EDID & CEA Description'. Under 'EDID', there's a list of 10 items. Under 'CEA', there's a list of 3 items. On the right, there's a 'Retrieve EDID' button and a 'Save' button. The 'Audio Format' dropdown menu is highlighted with a red box, showing options 1 through 6. The 'Save' button is also visible.

ドロップダウンメニューから、ご使用のオーディオ出力デバイスに適用する「Audio Format」(オーディオフォーマット) (1～6)を選択して、「Save」(保存)をクリックして、変更を適用してください。

タイミング/ディスプレイの詳細説明

「Detail Timing/Display Description」(タイミング/ディスプレイの詳細説明)画面には、ビデオ解像度の更なるオプションと(EDID で設定したものに加えて)解像度/タイミングの詳細が表示されます。

The screenshot shows the 'Detail Timing/Display Description' configuration window. On the left, there's a sidebar with 'EDID Mode' (ATEN Default, Port1 Mode, Remix, Customized) and 'Port EDID Status' (Port 1 Customized, Port 2 Customized, Port 3 Customized, Port 4 Customized). The main area is 'EDID & CEA Description'. Under 'EDID', there's a list of 10 items. Under 'CEA', there's a list of 3 items. On the right, there's a 'Retrieve EDID' button and a 'Save' button. The 'Resolution' dropdown menu is highlighted with a red box, showing options 1 through 6. The 'Save' button is also visible.

「Resolution」(解像度)ドロップダウンメニューから接続モニター/ディスプレイに合った解像度の値を選択して、「Save」(保存)をクリックしてください。

メンテナンス

「Maintenance」(メンテナンス)画面では VM6404H/VM6809H のファームウェアアップグレード、およびシステム設定のバックアップやリストアを行うことができます。これはアドミニストレーターのみが操作可能な機能です。



VM6404H/VM6809H のファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Browse**」(参照) ボタンをクリックして、ファームウェアアップグレードファイルを読み出してください。ローカル PC に正しいファイルが保存されていることを確認してください。
2. 「**Upgrade**」(アップグレード)をクリックして、アップグレードを開始してください。

注意: ファームウェアをアップデートしたら、Web ブラウザのキャッシュをクリアして画面を閉じ、起動しなおすことを推奨します。これによって、確実に GUI が最新の状態に更新され、機能が正しく行われるようになります。

VM6404H/VM6809H のシステム設定のバックアップを作成するには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Backup**」(バックアップ) ボタンをクリックしてください。そうすると、設定ファイルのダウンロードを開始します。

VM6404H/VM6809H のシステム設定をリストアするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Browse**」(参照) ボタンをクリックして、設定ファイルを読み出してください。ローカル PC に正しいファイルが保存されていることを確認してください。
2. 「**Restore**」(リストア)をクリックして、リストア処理を開始してください。

注意: ユーザーアカウントの情報はバックアップを作成したり、リストアしたりすることができません。別途、p.62「プロファイルのインポート/エクスポート」でバックアップを作成してください。

HDCP

「HDCP」画面では、デジタルコンテンツの不正コピーからデータを保護しながら各種デバイス間でシームレス切替を確実に行えるようにするために、入出力ポート間で使用する HDCP キーの値を参照したり、これを設定したりすることができます。これは、アドミニストレーターと上級ユーザーのみに限定された機能です。



入力

このセクションでは、ポートの機能が HDCP 2.2、HDCP 1.4 または HDCP 無効のうち、どれに当てはまるかを選択することができます。また、この設定は個別に行うこともできますし、同一の値を全ポートに適用することも可能です。



接続

このセクションでは、入出力の接続の組み合わせを視覚的に確認することができます。入力を選択すると、その入力に対する出力との関連付けがグリーンで表示されます。

出力

このセクションでは HDCP の設定が確定しているかどうかを定義することができます。この設定は個別に行うこともできますし、同一の値を全ポートに適用することも可能です。キーを事前に準備して確定しておけば、HDCP 対応機器と HDCP 非対応機器の間で切替を行っても、シームレス切替機能が有効になります。

HDCP 確認

表の右上に配置されている「HDCP Check」(HDCP 確認) ボタンを使うと、接続ディスプレイの HDCP 機能を同時に確認することができます (VM6809H のみ)。確認結果は、各ポートの「Fix HDCP」(固定 HDCP) チェックボックスの後にあるカッコ内に表示されます。

OSD/CEC

この画面では、全ポートに対する OSD および CEC の設定を確認したり設定内容を変更したりすることができます。

OSD / CEC

Port	OSD	CEC
	Apply to All ▼	Apply to All ▼
Port1	☒ ON	☐ OFF
Port2	☒ ON	☐ OFF
Port3	☒ ON	☐ OFF
Port4	☒ ON	☐ OFF
Port5	☒ ON	☐ OFF
Port6	☒ ON	☐ OFF
Port7	☒ ON	☐ OFF
Port8	☒ ON	☐ OFF
Port9	☒ ON	☐ OFF

* The CEC setting is only for output boards, please make sure all devices have this capability.

Save

Cancel

- ◆ **OSD**:ポートに対してデフォルトの OSD を設定します。OSD が ON に設定されている場合、出力ポートに対して設定やポート変更が行われると、リアルタイムでテキストメッセージがディスプレイに 10 秒間表示されます。
 - ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(すべてに適用)を選択するか、ポートごとに ON/OFF を選択して、この機能を有効にするか無効にするかを設定してください。
- ◆ **CEC**:CEC 機能は、相互接続された HDMI デバイス間の通信や応答を 1 つのリモコンの操作で行うことができる機能です。
 - ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(すべてに適用)を選択するか、ポートごとに ON/OFF を選択して、この機能を有効にするか無効にするかを設定してください。

設定内容を保存する場合は「**Save**」(保存)をクリックしてください。また、デフォルトの設定に戻す場合は「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

ビデオ

「Video」(ビデオ)画面は HDMI ビデオのオプションを設定するのに用いられます。設定に関する詳細は、p.83 を参照してください。

第5章 モバイル操作

概要

VM6404H/VM6809H は、ビデオマトリックスコントロールアプリに対応しています。このアプリは、プロファイルやオーディオ/ビデオ入力の切替や、ファームウェアのバージョンアップの通知を行う無料のモバイル版アプリで、各操作は、対象となる VM6404H/VM6809H が接続している LAN を介して実行されます。このモバイルアプリは、VM6404H/VM6809H のフロントパネルや Web インターフェースにアクセスできない環境において、プロファイルや AV ソースの切替を行うのに特に有用です。

ビデオマトリックスコントロールアプリ

システム要件

- ◆ アプリをインストールする前に、お使いのモバイルデバイスが次の対応モバイル OS の条件を満たしているかどうか、ご確認ください。

モバイル OS	対応バージョン
iOS	12.0 以降
Android	8.0 以降

- ◆ VM6404H/VM6809H がイーサネットポート経由で LAN に接続されていることをご確認ください。

インストールと接続

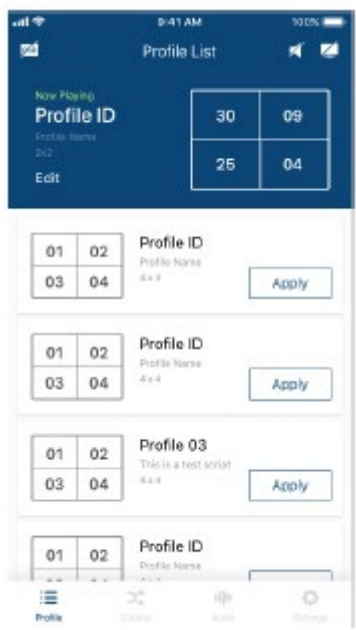
モバイルデバイスにビデオマトリックスコントロールアプリをインストールするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. モバイルデバイスで、「App Store」 または「Google Play」 のアイコンをタップしてください。
2. 検索ボックスで、「Video Matrix Control App」と入力してください。
3. 「Video Matrix Control App」をタップして、アプリをインストールしてください。
4. アプリのアイコンをタップしてください。
5. 画面内の指示に従い、ネットワークのスキャン、接続履歴からの選択、デバイスの IP アドレスとパスワードの指定のいずれかの方法を用いて、目的の VM6404H/VM6809H に接続してください。

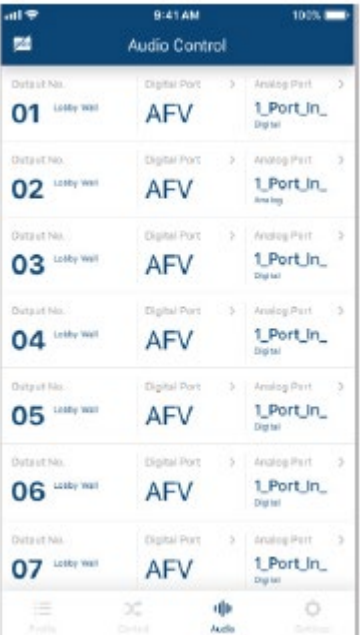
-
- 注意：**
- ◆ ビデオマトリックスコントロールアプリは、一度に 1 台の VM6404H/VM6809H を操作することを前提にして設計されています。
 - ◆ VM6404H/VM6809H が検出できない場合は、VM6404H/VM6809H とアプリが同じ LAN に接続されていることをご確認の上、再試行してください。
-

操作インターフェース

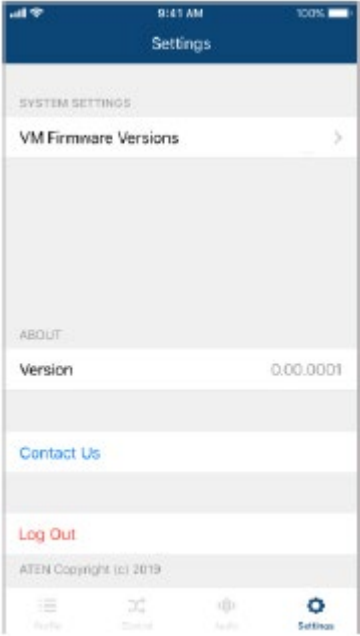
ビデオマトリックスコントロールアプリの機能は、「**Profile**」(プロフィール)、「**Control**」(操作)、「**Audio**」(オーディオ)、「**Settings**」(設定)の 4 つのタブに分類されます。各タブの概要は下表のとおりです。

操作インターフェース	説明
	「Profile」(プロフィール)タブでは、表示プロフィールの切替や、再生中のプロフィールに対するビデオ入力の変更を行うことができます。 注意: ◆ ビデオマトリックスコントロールアプリから、プロフィールを作成することはできません。必要なプロフィールは、アプリを使用する前に Web インターフェース経由で作成しておいてください。詳細は、p.59「プロフィールの追加/再生」を参照してください。 ◆ ビデオマトリックスコントロールアプリ経由でプロフィールに加えた設定変更は、プロフィールが再生中の場合にのみ有効です。また、VM6404H/VM6809H の製品本体には保存されません。 ◆ 入力割り当てのプレビュー(左側の操作インターフェースにある入力番号で表示)は、VM0404HB、VM0808HA、VM0808HB ではサポートされません。

(表は次のページに続きます)

操作インターフェース	説明
	「Control」(操作)タブでは、各出力に対するビデオ入力をすぐに切り替えることができます。
	「Audio」(オーディオ)タブでは、VM6404H/VM6809H のデジタルおよびアナログ出力に対するオーディオ入力を指定することができます。 注意:このタブで利用可能な項目は、接続デバイスによって異なります。

(表は次のページに続きます)

操作インターフェース	説明
	「Settings」(設定)タブでは、各種情報(システムファームウェアアップグレードの通知、現在のアプリのバージョン、技術サポートの問い合わせ先)の確認、およびアプリからのログアウトを行うことができます。

第 6 章

CLI コマンド

概要

VM6404H/VM6809H のデバイスは、ホストコンピューター、またはコントロールシステムのようなデバイスと接続している場合に、RS-232 または Telnet コマンドを使って、管理や設定を行うことができます。本章では、RS-232/Telnet コマンド構文を使って VM6404H/VM6809H に接続する方法について説明します。

Telnet 経由でマトリックススイッチャーに接続するには

VM6404H/VM6809H と Telnet セッションを確立するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. VM6404H/VM6809H と共有するネットワークに、ホストコンピューターまたはコントロールシステムを接続してください。
2. お使いのコンピューターで、コマンドラインインタプリタープログラムを起動してください。
3. 手順 2 で起動したプログラムで、次のように VM6404H/VM6809H の IP アドレスを入力してください。

telnet [IP アドレス]:23

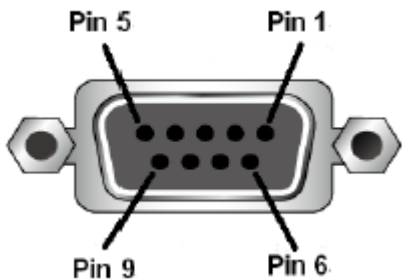
4. [Enter]キーを押してください。そうすると、ログイン画面が表示されます。
5. ログインプロンプトで、VM6404H/VM6809H のユーザーネームとパスワードを入力してください。
6. VM6404H/VM6809H とのセッションが確立すると、RS-232 コマンドを使って VM6404H/VM6809H の操作や設定が行えるようになります。コマンドの詳細は p.117「コマンド」を参照してください。

注意： セッションに存在するユーザーネームを使ってログインすると、古いセッションに置き換わって、最新のログインが有効になります。

RS-232 経由でマトリックススイッチャーに接続するには

VM6404H/VM6809H は、シリアルリモートコントローラーやコンピューターを使って操作を行うことができます。VM6404H/VM6809H に RS-232 経由で接続するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. お使いのコンピューターにある RS-232 シリアルポートと、VM6404H/VM6809H の RS-232 シリアルポートを、9ピンのストレートケーブルで接続してください。接続に使用されるのは、ピン 2、ピン 3、ピン 5 のみです。



ピン	説明
1	接続なし
2	RXD
3	TXD
4	接続なし
5	GND
6	接続なし
7	接続なし
8	接続なし
9	接続なし

2. コントローラーのシリアルポートを下表のとおりを設定してください。

RS-232 プロトコル	
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フローコントロール	なし

3. VM6404H/VM6809H とのセッションが確立すると、RS-232 コマンドを使って VM6404H/VM6809H の操作や設定が行えるようになります。コマンドの詳細は p.117「コマンド」を参照してください。

入力確認

コマンドが送信されると、下記のような確認メッセージがコマンドラインの最後に表示されます。

- ◆ **Command OK** - コマンドは正確で、その機能が実行されます。
- ◆ **Command incorrect** - 無効なコマンドまたはパラメーター。

コマンド

VM6404H/VM6809H に Telnet または RS-232 経由で接続すると、次のコマンドを使ってシステムを制御することができます。

ポート切替コマンド

ポート切替コマンドを使うと、VM6404H/VM6809H のポートを切り替えることができます。

ポート切替コマンドの構文は、下記の通りです。

VM6404H:

切替コマンド+入力コマンド+ポート番号+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

VM6809H:

切替コマンド+入力コマンド+ポート番号+出力コマンド+ポート番号+グループ+操作
[Enter]

1. 例えば、入力ポート 02 を出力ポート 04 に切り替えるには、下記を入力します。

sw i02 o04 [Enter]

2. 出力ポート 04 を次のポートに切り替えるには、下記を入力します。

sw o04 + [Enter]

3. ポート 03 のビデオ出力を OFF にするには、下記を入力します。

sw o03 off [Enter]

4. 入力ポート 06 のオーディオをステレオオーディオ出力に切り替えるには、下記を入力します。

sw i06 console audio [Enter]

本製品のポート切替コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
sw	切替コマンド

入力コマンド	説明
i	入力コマンド

ポート番号	説明
xx	ポート番号 01～04 (VM6404H) または 01～08 (VM6809H)

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	ポート番号 01～04 (VM6404H) または 01～09 (VM6809H)
*	出力ポートすべて

グループ	説明
normal	デフォルトの HDMI オーディオ出力を使用
console audio	オーディオを VM6809H のステレオオーディオ出力ポートに切替

操作	説明
on	ディスプレイへのビデオ出力 ON
off	ディスプレイへのビデオ出力 OFF
+	次のポート
-	前のポート

- 注意:
- デフォルトでは、入力ポート 01 は出力ポート 01 に、入力ポート 02 は出力ポート 02 に、入力ポート 04 は出力ポート 04 に、というように接続されています (例: o01 i01、o02 i02)。
 - 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

3. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。
4. **グループ**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値 (normal、HDMI オーディオ出力) が使用されます。

利用可能なポート切替コマンドリストは下表の通りです。

コマンド	入力 コマンド	入力ポ ート	出力 コマンド	出力 ポート	グループ	操作	Enter	説明
SW	i	xx	o	yy *	normal console audio		[Enter]	入力ポート xx を出力ポ ート yy に切替 (xx: 01～ 04/01～08 または* / yy: 01～04/01～09 また は*)
SW			o	yy *		on off	[Enter]	出力ポート yy へのビデ オ出力 ON 出力ポート yy へのビデ オ出力 OFF (yy: 01～04/01～09 ま たは*)
SW			o	yy *	normal console audio	+ -	[Enter]	出力ポート yy を次の出 力ポートに切替。 出力ポート yy を前の出 力ポートに切替。(yy: 01～04/01～09 または *)

EDID モードコマンド

EDID(Extended Display Identification Data)は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。下記のコマンドを使用して、VM6404H/VM6809H が使用する EDID モードを設定することができます。

EDID コマンドの構文は、下記の通りです。

EDID コマンド+操作 [Enter]

例えば、ポート 1 EDID モードを使用するには、下記を入力してください。

edid port1 [Enter]

EDID コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
edid	EDID モードコマンド

操作	説明
port1	ポート 1 に接続されたディスプレイの EDID を実行し、それをビデオソースに送信します。
remix	VM6404H/VM6809H の初回電源投入時、または「Remix」オプションを選択した際の接続に応じて、各接続ディスプレイの EDID を使用します。
default	ATEN のプリセット EDID を実行します(デフォルト)。
custom	EDID システム設定で設定したカスタマイズモードを実行します(p.100「EDID パラメーターのカスタマイズ」参照)。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な EDID コマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
edid	port1	[Enter]	ポート 1 からの EDID がビデオソースに送信されます。
edid	remix	[Enter]	VM6404H/VM6809H の初回電源投入時、または「Remix」オプションを選択した際の接続に応じて、各接続ディスプレイの EDID を使用します。
edid	default	[Enter]	ATEN のプリセットの EDID がビデオソースに送信されます。
edid	custom	[Enter]	EDID システム設定で設定したカスタマイズモードを実行します。

ミュートコマンド

ミュートコマンドを使うと、出力ポートからの音声を有効または無効にすることができます

ミュートコマンドの構文は、下記の通りです。

VM6404H:

ミュートコマンド+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

VM6809H:

ミュートコマンド+出力コマンド+ポート番号+グループ+操作 [Enter]

例えば、出力ポート 1 からの音声をミュートするには、下記を入力してください。

`mute o01 on` [Enter]

ミュートコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
mute	HDMI 出力ポートの音声を有効/無効にします。

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	ポート 01～04 (VM6404H) または 01～09 (VM6809H) (デフォルトはポート 01)
*	出力ポートすべて

グループ	説明
normal	デフォルトの HDMI オーディオ出力をミュート
console	VM6809H のステレオオーディオ出力をミュート

操作	説明
on	ミュート ON: HDMI 出力ポートの音声を無効にします。
off	ミュート OFF: 音声出力を有効にします (デフォルト)。

-
- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. 出力ポートコマンドを省略すると、全出力ポートのオーディオを無効または有効にすることができます。
 3. **グループ**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値 (normal、HDMI オーディオ出力) が使用されます。
-

利用可能なミュートコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力 コマンド	出力 ポート	グループ	操作	Enter	説明
mute	o	yy *	normal console	on	[Enter]	出力ポート yy の音声をミュートします。(yy:01～04/01～09 または*)
mute	o	yy *	normal console	off	[Enter]	出力ポート yy の音声を有効にします(デフォルト)。(yy:01～04/01～09 または*)

CEC コマンド

CEC(Consumer Electronics Control)とは、リモコン一つで相互接続した HDMI デバイスの通信や応答を可能にするものです。

CEC コマンドの構文は下記の通りです。

CEC コマンド+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

例えば、出力ポート 1 に対して CEC 機能を有効にするには、下記を入力します。

`cec o01 on [Enter]`

CEC コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
cec	CEC コマンド

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	ポート 01～04 (VM6404H) または 01～09 (VM6809H) (デフォルトはポート 01)
*	出力ポートすべて

操作	説明
off	CEC コントロールを無効にします (デフォルト)。
on	CEC コントロールを有効にします。

注意： 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な CEC コマンドは下表の通りです。

コマンド	出力コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
cec	o	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy に対する CEC を無効にします(デフォルト)。 (yy:01～04/01～09 または*)
cec	o	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy に対する CEC を有効にします。(yy:01～04/01～09 または*)

スケーリングコマンド

スケーリングコマンドを使うと、出力ポートに接続されたディスプレイをスケーリングする解像度を設定できます。

スケーリングコマンドの構文は下記の通りです。

スケーリングコマンド+出力+値 1+水平解像度+値 2+垂直解像度+値 3+周波数+値 4+操作 [Enter]

1. 例えば、出力ポート 2 に対してスケーリング機能を無効にするには、下記を入力します。
`scaling o02 off [Enter]`
2. 出力ポート 4 を解像度 1920×1080@60Hz にスケーリングするには、下記を入力します。
`scaling o04 1080p [Enter]`
3. 出力ポート全てを接続ディスプレイの実効解像度にスケーリングするには、下記を入力します。
`scaling o* native [Enter]`

スケーリングコマンドで使える値は下表の通りです。

コマンド	説明
scaling	スケーリングコマンド

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

値 1 (ポート番号)	説明
yy	ポート 01～04 (VM6404H) または 01～09 (VM6809H)
*	出力ポートすべて

水平解像度	説明
hor	スケーリングコマンド (水平解像度)

値 2(水平解像度)	説明
<i>hhhh</i>	水平解像度の値

垂直解像度	説明
<i>ver</i>	スケーリングコマンド(垂直解像度)

値 3(垂直解像度)	説明
<i>vvvv</i>	垂直解像度の値

周波数	説明
<i>freq</i>	スケーリングコマンド(周波数)

値 4(周波数)	説明
<i>fff</i>	解像度の周波数

操作	説明
<i>off</i>	スケーリング機能を無効にします(バイパスモード)。
<i>native</i>	ディスプレイの実効解像度をマッピングしてスケーリングします(デフォルト)。

注意:

1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
2. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力	値 1	水平 解像度	値 2	垂直 解像度	値 3	周波数	値 4	操作	Enter	説明
scaling	o	yy *							off	[Enter]	出力ポート yy へのスケーリング機能を無効にします(バイパスモード) (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *							native	[Enter]	ディスプレイの実効解像度をマッピングして、出力ポート yy へのスケーリング機能を有効にします(デフォルト) (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1920	ver	1080	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1920×1080@60Hz にスケーリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1280	ver	720	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1280×720@60Hz にスケーリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1920	ver	1200	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1920×1200@60Hz にスケーリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1600	ver	1200	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1600×1200@60Hz にスケーリングします (yy:01～04/01～09 または*)。

(表は次のページに続きます)

コマンド	出力	値 1	水平 解像度	値 2	垂直 解像度	値 3	周波数	値 4	操作	Enter	説明
scaling	o	yy *	hor	1400	ver	1050	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1400×1050@60Hz にスケールリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1280	ver	1240	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1280×1024@60Hz にスケールリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1024	ver	768	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1024×768@60Hz にスケールリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1280	ver	800	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1280×800@60Hz にスケールリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	720	ver	576	freq	50		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 720×576@50Hz にスケールリングします (yy:01～04/01～09 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1600	ver	900	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1600×900@60Hz にスケールリングします (yy:01～04/01～09 または*)。

フレームシンクコマンド

このコマンドを使うと、VM6809H に対して、フレームシンク機能を有効または無効に設定することができます。

フレームシンクコマンドの構文は下記の通りです。

フレームシンクコマンド+操作 [Enter]

例えば、フレームシンク機能を有効にするには、下記を入力してください。

frsync on [Enter]

フレームシンクコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
frsync	フレームシンクコマンド

操作	説明
on	フレームシンク機能を有効にします。
off	フレームシンク機能を無効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なフレームシンクコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
frsync	on	[Enter]	フレームシンク機能を有効にします。
frsync	off	[Enter]	フレームシンク機能を無効にします。

ファン回転速度コマンド

ファン回転速度コマンドでは、VM6404H/VM6809H の製品本体の冷却を行う内部ファンの回転速度を設定できます。

ファンの回転速度を設定するには、下記のコマンドを使用してください。

ファン回転速度 + 操作 [Enter]

- 例えば、冷却ファンの回転速度を低速に設定するには、下記を入力します。

fan low [Enter]

利用可能なファンの回転速度コマンドは下表の通りです。

コマンド	説明
fan	ファン回転速度コマンド

操作	説明
low	冷却ファンの回転速度を低速にします (デフォルト)。
mid	冷却ファンの回転速度を通常の色度にします。
high	冷却ファンの回転速度を高速にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なファン回転速度コマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
fan	low	[Enter]	冷却ファンの回転速度を低速にします。
fan	mid	[Enter]	冷却ファンの回転速度を通常の色度にします。
fan	high	[Enter]	冷却ファンの回転速度を高速にします。

エコーコマンド

エコー機能は、本製品のフロントパネルにあるプッシュボタン、Web ブラウザまたは Telnet から操作が行われた際に、RS-232 コントローラーへ更新されたことをメッセージで伝えます。変更が行われた場合、その変更が RS-232 コントローラーにエコーバックされるので、設定内容は常に本製品と同期を取ることができます。

エコーコマンドの構文は下記の通りです。

エコーコマンド+操作 [Enter]

例えば、エコーコマンドを有効にするには、下記を入力してください。

echo on [Enter]

エコーコマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
echo	エコーコマンド

操作	説明
on	エコー機能を有効にします。
off	エコー機能を無効にします (デフォルト)。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なエコーコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
echo	on	[Enter]	エコー機能を有効にします。
echo	off	[Enter]	エコー機能を無効にします。

画面暗転コマンド

画面暗転コマンドは、ソースデバイスからの信号が検知されなくなった際に、モニターの画面を暗転させるものです。これによって、ソースデバイスからの信号が検知されなくなった際に、ディスプレイがデフォルトのブルーや他の色の画面に変えないようにすることができます。

画面暗転コマンドの構文は下記の通りです。

画面暗転コマンド+操作 [Enter]

例えば、画面暗転コマンドを有効にするには、下記を入力してください。

blackscreen on [Enter]

画面暗転コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
blackscreen	画面暗転コマンド

操作	説明
on	画面暗転機能を有効にします(デフォルト)。
off	画面暗転機能を無効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

画面暗転機能で利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
blackscreen	on	[Enter]	画面暗転機能を有効にします。
blackscreen	off	[Enter]	画面暗転機能を無効にします。

読込コマンド

読込コマンドは、デバイスの現在の設定内容、ファームウェアのバージョンおよびその他の情報を参照することができます。

読込コマンドの構文は下記の通りです。

読込コマンド [Enter]

1. デバイスからの情報を読み込んで表示するには、下記を入力してください。

read [Enter]

読込コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
read	読込コマンド

読込機能で利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	Enter	説明
read	[Enter]	デバイスに関する情報を表示します。

リセットコマンド

VM6404H/VM6809H を工場出荷時のデフォルトプロファイルにリセットすることができます。

注意: ユーザーアカウント情報も消去されます。

リセットコマンドの構文は下記の通りです。

リセットコマンド [Enter]

リセットコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
reset	リセットコマンド

リセットコマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	Enter	説明
reset	[Enter]	デバイスの設定をリセットします。

ボーレートコマンド

ボーレートコマンドを使うと、VM6404H/VM6809H で使用するボーレートを選択することができます。オプションは、9600、19200 (デフォルト)、38400、および 115200 です。

ボーレートの設定コマンドの構文は下記の通りです。

ボーレートコマンド+操作 [Enter]

例えば、ボーレート 38400 を選択する場合、下記を入力します。

baud 38400 [Enter]

ボーレートコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
baud	RS-232 ボーレートを設定します。

操作	説明
9600	ボーレート 9600 を使用します。
19200	ボーレート 19200 を使用します (デフォルト)。
38400	ボーレート 38400 を使用します。
115200	ボーレート 115200 を使用します。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

ボーレートコマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
baud	9600/19200/38400/ 115200	[Enter]	RS-232 ボーレートを設定します。

プロファイルの保存/呼び出しコマンド

プロファイルの保存/呼び出しコマンドでは、接続プロファイルの保存や呼び出しをすることができます。保存する場合、現在使用している表示パターンを保存できます。

プロファイルの保存/呼び出しコマンドの構文は下記の通りです。

コマンド+プロファイル+番号+操作 [Enter]

例えば、現在の接続設定をプロファイル番号 02 に保存するには、下記を入力してください。

profile f 02 save [Enter]

プロファイルの保存/呼び出しコマンドで使える値は下表の通りです。

コマンド	説明
profile	プロファイルを保存/呼び出します。

プロファイル	説明
f	プロファイル(番号)

プロファイル番号	説明
yy	VM6404H:01～08(デフォルトは 01) VM6809H:01～17(デフォルトは 01)

操作	説明
save	現在のプロファイルを保存します。
load	プロファイルを呼び出します。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

プロファイルの保存/呼び出しコマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	プロファイル	プロファイル 番号	操作	Enter	説明
profile	f	yy *	save	[Enter]	接続をプロファイル番号 yy として保存します。(yy:01～08/01～17 または*)
profile	f	yy *	load	[Enter]	プロファイル番号 yy を呼び出します。(yy:01～08/01～17 または*)

OSD コマンド

ディスプレイに対するオンスクリーンディスプレイ(OSD)を有効または無効にするには、下記のコマンドを使用してください。

OSD コマンド+出力+番号+操作 [Enter]

- 例えば、出力 04 に対して OSD を有効にするには、下記を入力してください。

osd o04 on [Enter]

- 例えば、すべての出力に対して OSD を無効にするには、下記を入力してください。

osd o* off [Enter]

OSD コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
osd	OSD コマンド

出力	説明
o	出力ポートコマンド

番号	説明
yy	出力ポート VM6404H:01～04(デフォルトは 01) VM6809H:01～09(デフォルトは 01)
*	出力ポートすべて

操作	説明
on	OSD を有効にします。
off	OSD を無効にします(デフォルト)。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

OSD コマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
osd	o	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy に対する OSD を有効にします。(yy: 01～04/01～09 または*)
osd	o	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy に対する OSD を無効にします(デフォルト)。 (yy: 01～04/01～09 または*)

警告コマンド

特定の入力ポートで問題が発生した際に警告を通知することができます。構文は、下記のとおりです。

警告コマンド+入力+番号+操作 [Enter]

- 例えば、入力ポート 01 に対して基本警告機能を有効にするには、下記を入力してください。

alert i01 m1 [Enter]

警告コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
alert	警告コマンド

入力コマンド	説明
i	入力コマンド

ポート番号	説明
yy	ポート 01～04 (VM6404H) または 01～08 (VM6809H)

操作	説明
off	警告を無効にします (デフォルト)。
m1	基本警告を表示します (枠が点滅表示)
m2	詳細警告を表示します (枠とポート情報が点滅表示)

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

警告コマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	入力 コマンド	入力 ポート	操作	Enter	説明
alert	i	yy	off	[Enter]	入力ポート yy の警告を OFF にします。(yy:01~04/01~08 または*)
alert	i	yy	m1	[Enter]	入力ポート yy の基本警告を表示します。(yy: 01~04/01~08 または*)
alert	i	yy	m2	[Enter]	入力ポート yy の詳細警告を表示します。(yy: 01~04/01~08 または*)

ファン回転速度コマンド

ファン回転速度コマンドでは、VM6404H/VM6809H を冷却するファンの回転速度を設定できます。

ファンの回転速度を設定するには、下記のコマンドを使用してください。

ファン回転速度＋速度 [Enter]

例えば、冷却ファンの回転速度をハイスピードに設定するには、下記を入力します。

fan high [Enter]

利用可能なファンの回転速度コマンドは下表の通りです。

コマンド	説明
fan	ファン回転速度コマンド

速度	説明
low	冷却ファンの回転速度をロースpeedにします。
mid	冷却ファンの回転速度をノーマルスピードにします。
high	冷却ファンの回転速度をハイスピードにします。
auto	温度を自動検出して適切な速度に調節します。

注意： 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

ファン回転速度コマンドで使える値および構文は下表の通りです。

コマンド	速度	Enter	説明
fan	low	[Enter]	冷却ファンの回転速度をロースpeedにします。
fan	mid	[Enter]	冷却ファンの回転速度をノーマルスピードにします。
fan	high	[Enter]	冷却ファンの回転速度をハイスピードにします。
fan	auto	[Enter]	冷却ファンの回転速度を自動調整します。

付録

製品仕様

VM6404H

デバイス接続数	4
ディスプレイ接続数	
最大	4
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×4
インピーダンス	100 Ω
最大距離	ソースデバイスとの最大距離:2 m
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×4
インピーダンス	100 Ω
最大距離	ディスプレイとの最大距離:15 m
制御	
RS-232	コネクタ: DB-9 ピン メス×1 ボーレート/プロトコル:ボーレート:19200、データビット:8、 ストップビット:1、パリティ:無、 フローコントロール:無 ピンアサイン:Pin2=Rx、Pin3=Tx、Pin5=GND
IR	ミニジャック×1
イーサネット	RJ-45×1
ビデオ	
最大解像度	最大 4K(4096×2160@30Hz(4:4:4)、4096×2160@60Hz(4:2:0)、3840×2160@30Hz(4:4:4)、3840×2160@60Hz(4:2:0))
最大データ伝送速度	10.2 Gbps
最大ピクセルクロック	340 MHz
規格準拠	HDMI(3D、Deep Color、4K※)、HDCP 2.2、CEC

(表は次のページに続きます)

EDID 設定	プリセット / ポート 1 / リミックス / カスタマイズ (EDID ウィザード対応)
スイッチ	
選択	In: プッシュボタン×4 Out: プッシュボタン×4 Previous: プッシュボタン×1 Next: プッシュボタン×1 Cancel: プッシュボタン×1 Menu: プッシュボタン×1 Profile: プッシュボタン×1 Enter: プッシュボタン×1
電源	ロッカースイッチ×1
電源	
コネクタ	3 極 AC 電源ソケット×1
電源仕様	AC 100～240V、50/60Hz、1A (日本仕様は PSE 対応 3P/100V 電源コードを同梱)
消費電力	AC100V:47.6 W AC220V:47.5 W
動作環境	
動作温度	0～50° C
保管温度	-20～60° C
湿度	0～80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	4.72 kg
サイズ(W×D×H)	433×308×44mm
同梱品	電源ケーブル×1 IR リモコン (型番:2XRT-0106G)×1 IR レシーバー (型番:2XRT-0003G)×1 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1

VM6809H

デバイス接続数	8
ディスプレイ接続数	
最大	9
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×8
インピーダンス	100 Ω
最大距離	ソースデバイスとの最大距離:2.0 m
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×9
インピーダンス	100 Ω
最大距離	ディスプレイとの最大距離:15 m
制御	
RS-232	コネクタ: DB-9 ピン メス×1 ボーレート/プロトコル:ボーレート:19200、データビット:8、ストップビット:1、パリティ:無、フローコントロール:無
イーサネット	RJ-45×1
ビデオ	
最大解像度	4K※
最大データ伝送速度	10.2 Gbps
最大ピクセルクロック	340 MHz
規格準拠	HDMI (3D, Deep Color, 4K※)、HDCP 2.2、CEC
オーディオ	
出力	ステレオミニジャック×1
EDID 設定	EDID モード:プリセット / ポート1 / リミックス / カスタマイズ(EDID ウィザード対応)

(表は次のページに続きます)

スイッチ	
選択	In:プッシュボタン×8 Out:プッシュボタン×9 Cancel:プッシュボタン×1 Menu:プッシュボタン×1 Profile:プッシュボタン×1 Enter:プッシュボタン×1
電源	ロッカースイッチ×1
コネクター	
電源	3 極 AC 電源ソケット×1
電源	
電源仕様	AC 100～240V、50/60Hz、1A (日本仕様は PSE 対応 3P/100V 電源コードを同梱)
消費電力	AC100V:79.5 W AC220V:78.1 W
動作環境	
動作温度	0～50℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	7.05 kg
サイズ(W×D×H)	433×451×44 mm
同梱品	電源ケーブル×1 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1
注意	※ 対応する 4K 解像度は、3840×2160@30Hz(4:4:4)、3840×2160@60Hz(4:2:0)、4096×2160@30Hz(4:4:4)、4096×2160@60Hz(4:2:0)です。